

取扱説明書 導入ガイド

本書では、Offirio SynergyWare PrintDirector の機能概要とセットアップおよび基本的な使用方法などについて説明しています。

システム構成

6

インストールと起動

18

運用に必要な設定

44

困ったときは

52

付録

56

マークの意味

本書中では、いくつかのマークを用いて重要な事項を記載しています。これらのマークが付いている記述は必ずお読みください。それぞれのマークには次のような意味があります。

-  **重要** この表示を無視して誤った取り扱いをすると、プリンタ本体が損傷したり、プリンタ本体、プリンタドライバやソフトウェアが正常に動作しなくなる場合があります。この表示は、本製品をお使いいただく上で必ずお守りいただきたい内容を示しています。
-  **参考** 補足説明や参考情報を記載しています。
-  関連した内容の参照ページを示しています。

Windows の表記

Microsoft® Windows NT® Operating System Version 4.0

日本語版

Microsoft® Windows® 2000 Operating System 日本語版

Microsoft® Windows® Server 2003, Standard Edition

Microsoft® Windows® Server 2003, Enterprise Edition

Microsoft® Windows® XP Professional Operating System

日本語版

Microsoft® Windows® XP Home Edition Operating System

日本語版

Microsoft® Windows Vista™ Operating System 日本語版

本書では、上記各オペレーティングシステムをそれぞれ「Windows NT4.0」、「Windows 2000」、「Windows Server 2003」、「Windows XP」、「Windows Vista」と表記しています。またこれらを総称する場合は「Windows」、複数の Windows を併記する場合は「Windows 2000/XP」のように Windows の表記を省略することがあります。

掲載画面

- 本書の画面は実際の画面と多少異なる場合があります。また、OS の違いや使用環境によっても異なる画面となる場合がありますので、ご注意ください。
- 本書に掲載する Windows の画面は、特に指定がない限り Windows XP の画面を使用しています。

商標

Microsoft、Windows、Windows Vista は米国マイクロソフトコーポレーションの米国およびその他の国における登録商標です。

Adobe、Adobe Acrobat は Adobe Systems Incorporated (アドビシステムズ社) の商標です。

その他の製品名は各社の商標または登録商標です。

著作権について

写真・書籍・地図・図面・絵画・版画・音楽・映画・プログラムなどの著作権物は、個人（家庭内その他これに準ずる限られた範囲内）で使用するために複製する以外は著作権者の承認が必要です。

ご注意

- 本書の内容の一部または全部を無断転載することを禁止します。
- 本書の内容は将来予告なしに変更することがあります。
- 本書の内容にご不明な点や誤り、記載漏れなど、お気付きの点がありましたら弊社までご連絡ください。
- 運用した結果の影響については前項に関わらず責任を負いかねますのでご了承ください。
- 本製品が、本書の記載に従わずに取り扱われたり、不適当に使用されたり、弊社および弊社指定以外の、第三者によって修理や変更されたことなどに起因して生じた障害等の責任は負いかねますのでご了承ください。
- 弊社純正品以外および弊社品質認定品以外の、オプションまたは消耗品を装着し、それが原因でトラブルが発生した場合は、保証期間内であっても責任は負いかねますのでご了承ください。ただし、この場合の修理などは有償で行います。

本製品を日本国外へ持ち出す場合の注意

本製品（ソフトウェアを含む）は日本国内仕様のため、本製品の修理・保守サービスおよび技術サポートなどの対応は、日本国外ではお受けできませんのでご了承ください。また、日本国外ではその国の法律または規制により、本製品を使用できないことがあります。このような国では、本製品を運用した結果罰せられることがあります。当社といたしましては一切責任を負いかねますのでご了承ください。

もくじ

本製品の機能.....	5
-------------	---

システム構成 6

本製品の構成要素について	6
--------------------	---

- サーバコンポーネント ... 6
- クライアントコンポーネント（印刷する人） ... 8
- クライアントコンポーネント（管理／集計者） ... 8

システム構成の例	9
----------------	---

- 印刷制限機能を使う場合 ... 9
- 印刷制限機能を使わない場合でエプソン製ジョブ MIB 対応プリンタのみを使用する場合 ... 10
- 印刷制限機能を使わない場合でエプソン製ジョブ MIB 非対応プリンタを使用する場合 ... 10
- スキャナ使用ログを取得する場合 ... 11

印刷の実行からログ集計までの流れ.....	12
-----------------------	----

- クライアントからログを取得する場合 ... 12
- ジョブMIB対応プリンタからログを取得する場合 ... 12

システム条件.....	13
-------------	----

- サーバ用コンポーネント動作環境 ... 13
- クライアント用コンポーネント動作環境 ... 13
- 対象プリンタ及び対象ネットワーク
インターフェイスカード ... 13
- ログ取得が可能なプリンタとの接続形態 ... 14
- ログ取得が可能なスキャナ及び
コピーシステムの接続形態 ... 14
- 対応ブラウザ ... 14

制限事項.....	15
-----------	----

- ログ取得における制限事項 ... 15
- 印刷制限機能の制限事項 ... 17
- 印刷費計算機能の制限事項 ... 17
- 複数印刷（繰り返し印刷、部数印刷）の
制限機能の制限事項 ... 17

インストールと起動 18

セットアップの流れ	18
-----------------	----

本製品をインストールする	19
--------------------	----

- メインサーバ（PrintDirector 本体）への
インストール ... 19
- 補助サーバへのインストール ... 22

削除（アンインストール）する	24
----------------------	----

- サーバ機能の削除（アンインストール） ... 24

本製品を起動してログインする	25
----------------------	----

- メインサーバ（PrintDirector 本体）からの起動 ... 25
- メインサーバ(PrintDirector 本体)以外からの起動 ... 25
- 本製品へのログイン ... 26

初期設定	27
------------	----

- デバイス登録 ... 27
- ユーザー登録 ... 29
- 印刷ログ取得サーバ設定 ... 31
- 印刷ログ監視クライアント ... 32
- プリンタ監視サーバ設定 ... 38

印刷制限設定.....	40
-------------	----

ネットワーク設定.....	42
---------------	----

その他の設定内容について	43
--------------------	----

運用に必要な設定 44

定期通知処理設定.....	44
---------------	----

レポート機能設定.....	46
---------------	----

印刷制限通知設定.....	48
---------------	----

通知設定	49
------------	----

ログ収集	51
------------	----

困ったときは52

印刷ログに関するトラブル52

- 印刷ログが取得できない ... 52
- 「データが見つかりません」エラーが表示される ... 52
- ユーザー名が「unknown」になる ... 52
- エクスポートするとログの先頭にある
- 「0」が消える ... 53

集計に関するトラブル53

- 一部のプリンタのログが集計できない ... 53
- 印刷ログ取得サーバ併用時、
集計したログ情報がおかしい ... 53

印刷制限機能に関するトラブル53

- 警告メールが送信されない ... 53
- 警告メッセージが表示されない ... 53
- 印刷制限されない ... 54
- プリンタ監視サーバ併用時、
モノクロ印刷の枚数制限が動作しない ... 54
- 印刷ログ取得サーバ併用時、
印刷可能枚数がおかしい ... 54
- 複数印刷制限されない ... 54
- 部数印刷制限されない ... 54

印刷費計算機能に関するトラブル55

- 「デフォルト印刷費単価を設定してください」
エラーが表示される ... 55

その他のトラブル55

- 本製品が正常に動作しない ... 55
- 補助サーバを登録できない ... 55
- デバイス検索で検索されない ... 55
- Messenger サービスが使えない ... 55
- コンピュータ起動時に印刷制限のメッセージや
メールが通知される ... 55

付録.....56

システム構成確認チャート 56

EpsonNet LogBrowser V2/

WebManager から移行 64

- グループの考え方 ... 64
- グループ移行の仕方 ... 65
- 移行の流れ ... 66

EpsonNet LogBrowser V2/

WebManager データのバックアップ 67

- バックアップデータの移行 ... 68

試用版データの移行

(データベースメンテナンスツールの使い方) 70

- バックアップ ... 70
- 復元 ... 73
- ログ情報の復元 ... 74

取得可能なログの種類について 75

- 印刷ログ ... 75
- スキャナの使用ログ ... 77

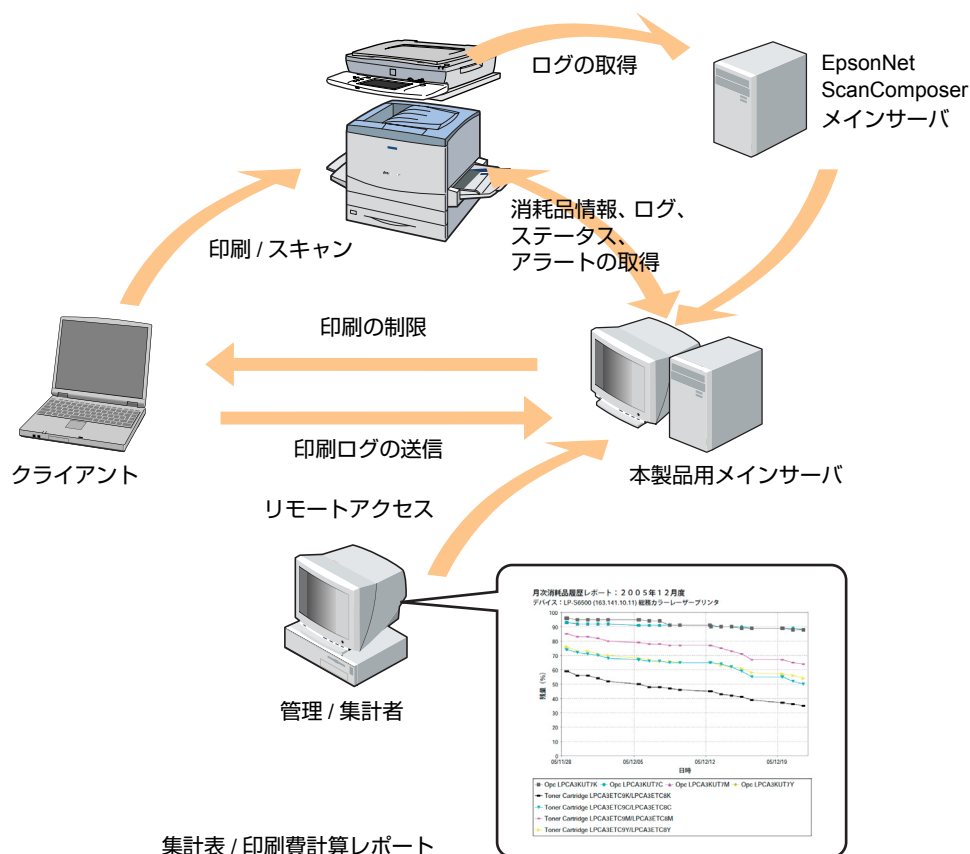
問い合わせ事前確認一覧..... 78

メモしておきましょう (Print Director) 79

本製品の機能

本製品は、社内 / 学校内ネットワーク（イントラネット）上のデバイス（プリンタやコピーシステム）の監視や管理（消耗品残量など）と、各クライアントからの印刷実行状況などを記録して集計 / 出力することができるソフトウェアです。集計したログを活用することで、社内 / 学校内の無駄な印刷コストを削減し、効果的な印刷環境の構築に役立てることができます。

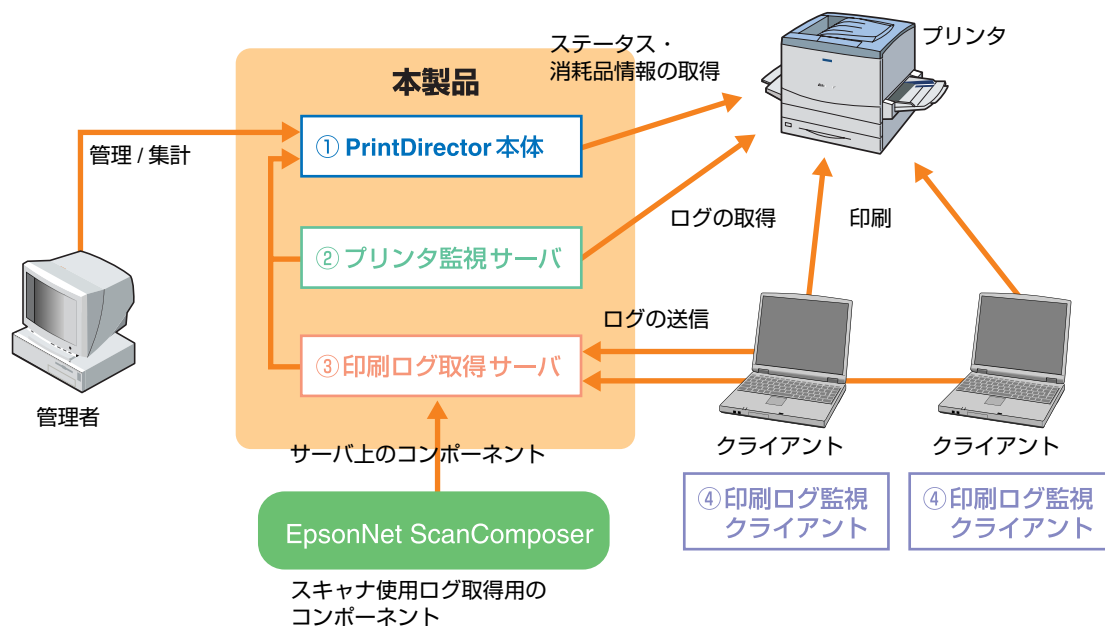
- ブラウザベースで機能するソフトウェアです。サーバ以外のコンピュータから、集計、出力と各種設定が実行できます。
- 印刷枚数の上限などを設定して印刷を制限したり、ユーザーにメッセージを表示したりできます（印刷制限機能）。
- 管理者が用紙代など印刷にかかるコストを設定することにより、ユーザーごと、プリンタごとに、コストを集計 / 出力できます。
- システム管理者（すべての設定が可能）、管理者（グループの作成や印刷制限の設定が可能）、集計ユーザー（レポート作成が可能）、一般ユーザー（自分の使用状況が確認可能）に分けてログインできます。
- 印刷の記録（ログ）を定期的にファイル出力したり、出力ファイルを E-mail に添付して送信したりできます。
- 集計したログを pdf、または CSV で表示できます。
- 管理者がネットワーク上のプリンタの状態を監視できます。
- 管理者がネットワーク上のプリンタの消耗品残量を管理できます。
- 障害や消耗品残量の記録を定期的にファイルに出力したり、出力ファイルを E-mail に添付して送信したりできます。



システム構成

本製品の構成要素について

本製品は、いくつかのコンポーネントによって構成されます。まず、各コンポーネントの役割を理解してください。



サーバコンポーネント

① PrintDirector 本体

本製品の核となるコンポーネントです。

ユーザーおよびプリンタに関する管理情報や、印刷ログ情報などのデータベースを管理します。メインとなるサーバ 1 台のみにインストールします。

！重要 同一のネットワーク環境下のサーバ 2 台以上に **PrintDirector 本体** のコンポーネントをインストールしないでください。印刷ログが正常に取得できません。

②プリンタ監視サーバ

ジョブ MIB（JobMonitoringMIB 以下ジョブ MIB）対応のプリンタから印刷ログとコピーシステム使用時のログを直接収集し、① PrintDirector 本体へ蓄積するためのコンポーネントです。標準のインストールで、メインサーバに① PrintDirector 本体と一緒にインストールされます。

ジョブ MIB 対応のプリンタについては、エプソンのホームページでご確認ください（<http://www.epson.jp/products/offirio/sw/printing/index.htm>）。

ジョブ MIB に対応していないプリンタから印刷ログを直接収集することはできません。「④印刷ログ監視クライアントー③印刷ログ取得サーバ」の組み合わせでログを取得してください。

参考

- ジョブ MIB 対応のプリンタがない場合、②プリンタ監視サーバは不要です。「④印刷ログ監視クライアントー③印刷ログ取得サーバ」の組み合わせでログを取得してください。
- ②プリンタ監視サーバは、ご使用の環境や印刷のタイミングによりサーバへの負荷状況が異なるため、以下を目安として設置してください。
 - ・オプションのネットワークインターフェイスカードを接続したプリンタを使う場合は 25 台につき 1 台
 - ・ネットワークインターフェイス内蔵のプリンタを使う場合は 100 台につき 1 台
 以上の条件を超えときは、②プリンタ監視サーバのコンポーネントをインストールした補助サーバを増設し、監視するプリンタを分散させてください。条件を超えないときは① PrintDirector 本体用のメインサーバと同一サーバで構いません。
- プリンタは、一定期間を過ぎると印刷ログを破棄します。そのため、②プリンタ監視サーバが停止している間に印刷があった場合、その印刷ログは失われることがあります。このような事態を回避するために②プリンタ監視サーバは、バックアップサーバを設定することが可能です。バックアップサーバを設定しておけば、②プリンタ監視サーバに問題が発生した時にも、印刷ログを失うことはありません。
- スキャナとプリンタを組み合わせた、コピーシステム使用時のログを取得する場合は、②プリンタ監視サーバでログを取得してください。

③印刷ログ取得サーバ

④印刷ログ監視クライアントから送信される印刷ログと EpsonNet ScanComposer から送信されるスキャナ使用ログを、① PrintDirector 本体へ蓄積するためのコンポーネントです。印刷制限機能を使う場合、またはクライアントに④印刷ログ監視クライアントをインストールする場合には必要です。標準のインストールで、メインサーバに① PrintDirector 本体と一緒にインストールされます。

参考

- ③印刷ログ取得サーバは、ログ取得の対象となるコンピュータ（クライアントと EpsonNet ScanComposer をインストールしたサーバ）250 台につき 1 台のサーバが必要です（印刷のタイミングによりサーバへの負荷状況が変わるため 250 台を目安としてください）。対象のコンピュータが 250 台以上の場合、③印刷ログ取得サーバのコンポーネントをインストールした補助サーバを増設し、監視する対象コンピュータを分散させてください。クライアントが 250 台未満の場合、③印刷ログ取得サーバ用のサーバは① PrintDirector 本体用のメインサーバと同一のサーバで構いません。
- プリンタ側で印刷ジョブのキャンセルを行った場合は、③印刷ログ取得サーバで取得したログよりも②プリンタ監視サーバで取得したログの方がより正確な枚数の情報が得られます。

クライアントコンポーネント(印刷する人)

④印刷ログ監視クライアント

③印刷ログ取得サーバを設置した場合に、管理者がインストーラを作成し、各クライアントにインストールします。各クライアントで印刷を実行すると、印刷情報を③印刷ログ取得サーバに送信します。

インストーラ作成時に「ユーザーの操作を許可する」にチェックを付けて作成すると、サイレントインストールが可能になります。

④印刷ログ監視クライアントが必要なケースは以下の通りです。

- 印刷制限機能（印刷枚数の上限などを設けて印刷を制限する機能）を使う場合
- ジョブ MIB 非対応のプリンタが存在する場合

！重要 印刷ログ監視クライアントを各クライアントにインストールしても、スタートメニュー内およびプログラムの追加と削除には表示されません。

参考 印刷制限機能を使う場合でも、プリントサーバ（コンピュータ）で共有しているプリンタをクライアントで使うときは、④印刷ログ監視クライアントをプリントサーバにインストールすれば、クライアントにインストールする必要はありません。

クライアントコンポーネント(管理／集計者)

管理 / 集計者が必要なコンポーネントはありません。Web ブラウザで指定のパス（<https://> メインサーバの IP アドレス / PD/）にアクセスすることで、本製品の各種設定や集計を実行することができます。

参考 管理者用と集計者用のユーザー ID を別々に登録することができます。

システム構成の例

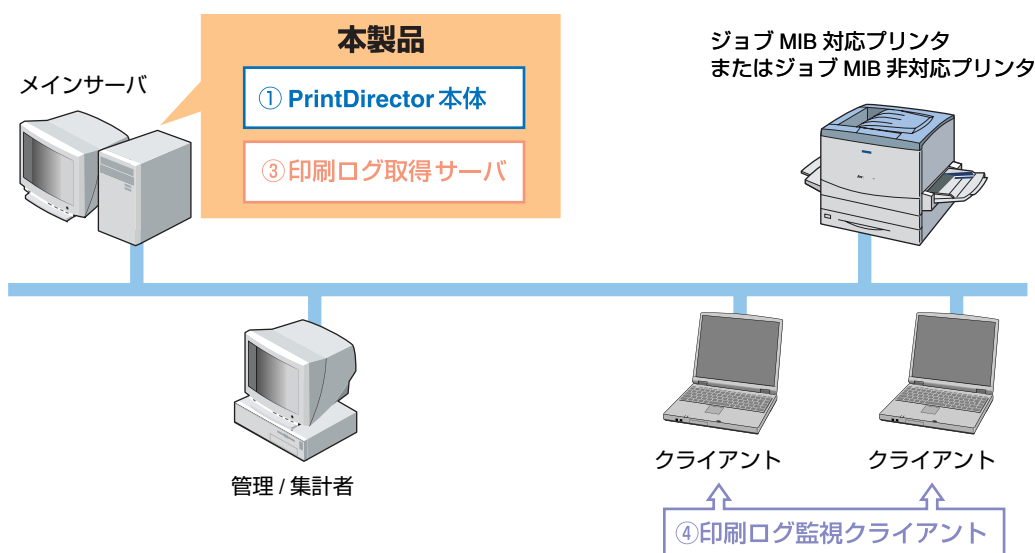
システム構成の例を示します。以下を参考に、お使いの環境に合わせたシステムを構築してください。

参考

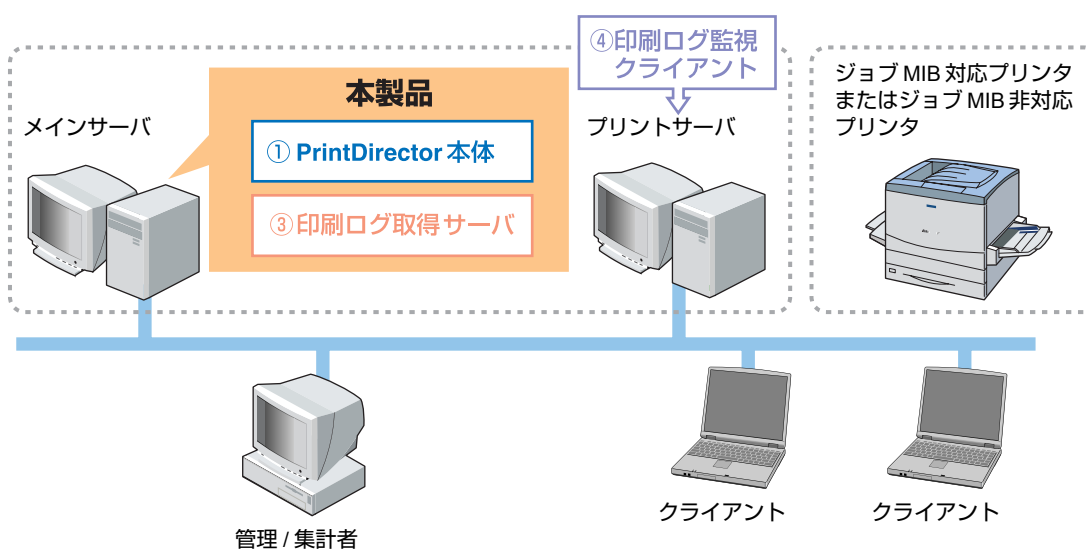
- 巻末にケースに応じたシステム構成を考えていただくための設問形式のガイドをご用意しています。システム構築計画にお役立てください。
→ 56 ページ「システム構成確認チャート」
- スキャナは、コピーシステムとして EpsonNet ScanComposer との組み合わせで接続されている場合にのみログを取得できます。

印刷制限機能を使う場合

例 1：プリンタに直接印刷する場合

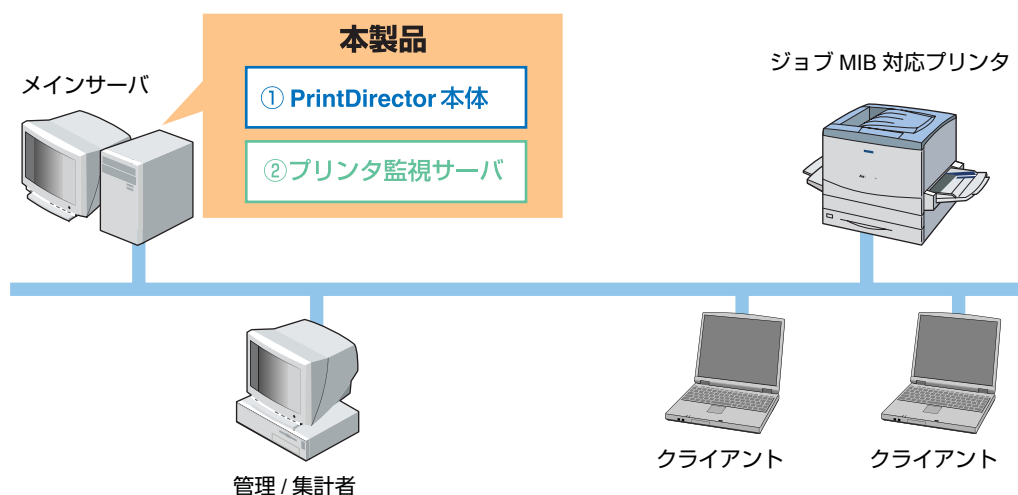


例 2：プリンタを Microsoft Windows Network 上で共有している場合



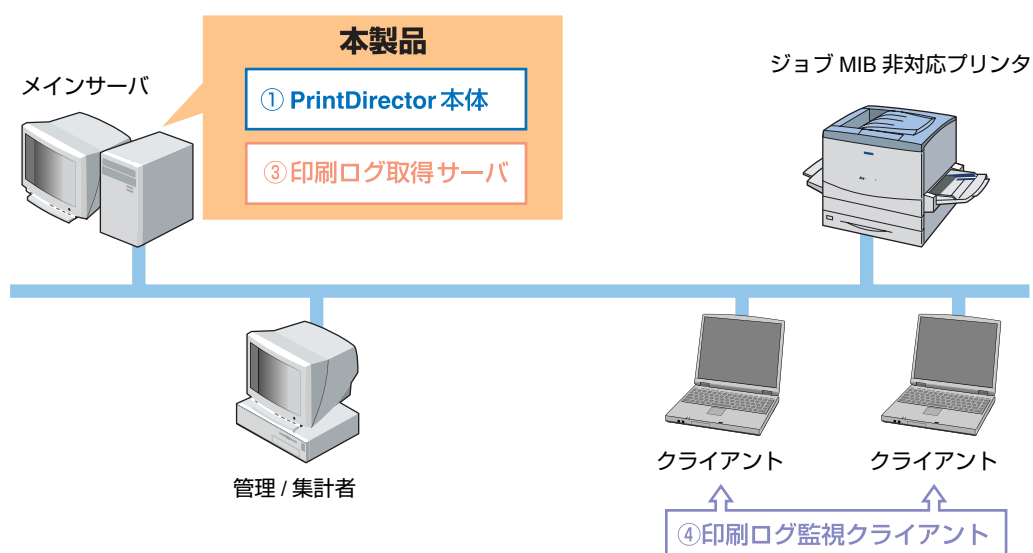
印刷制限機能を使わない場合で エプソン製ジョブ MIB 対応プリンタのみを使用する場合

例 3：プリンタに直接印刷する場合

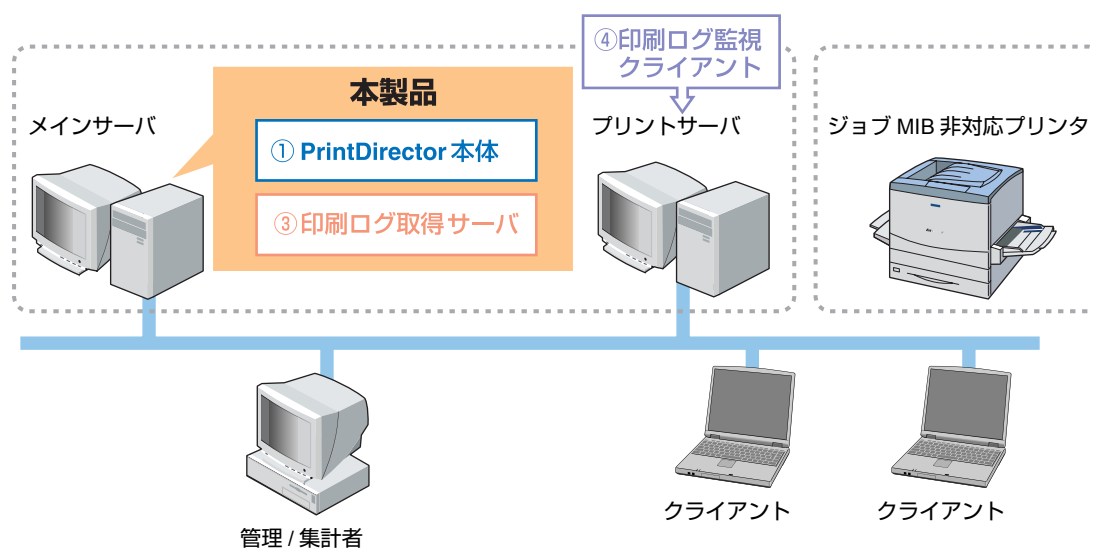


印刷制限機能を使わない場合で エプソン製ジョブ MIB 非対応プリンタを使用する場合

例 4：プリンタに直接印刷する場合

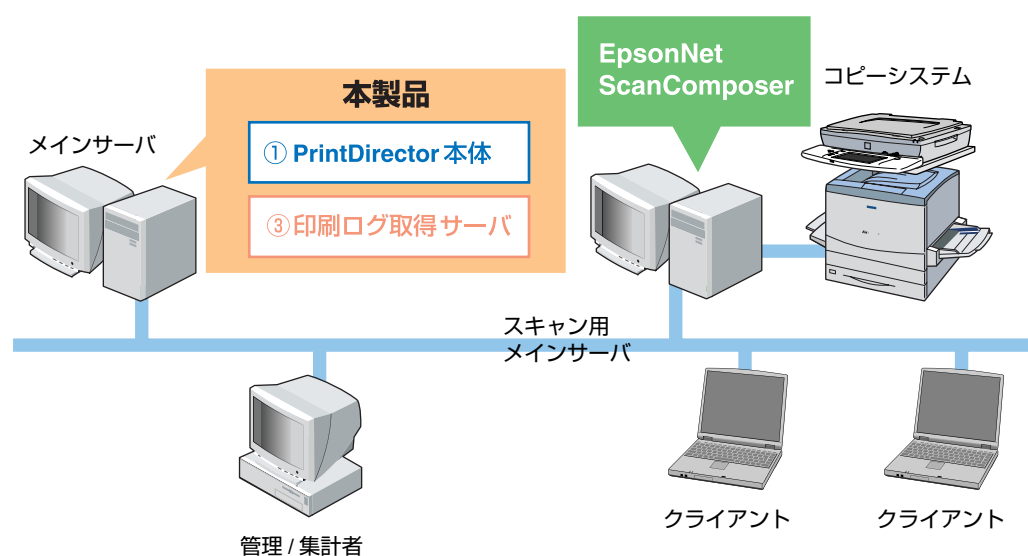


例 5：プリンタを Microsoft Windows Network で共有している場合



スキャナ使用ログを取得する場合

例 6：コピーシステムをネットワークで共有している場合



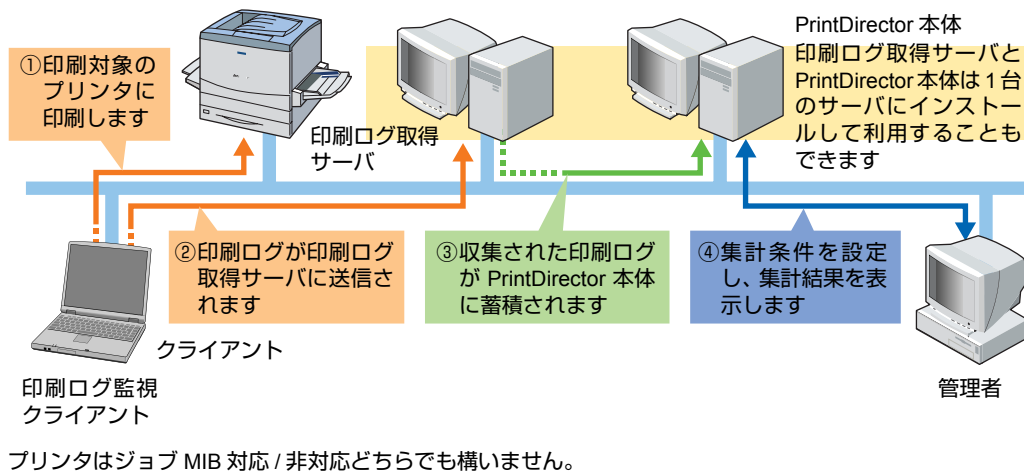
印刷の実行からログ集計までの流れ

クライアントで印刷を実行すると、印刷ログ情報が次のどちらかのルートで **PrintDirector 本体** のデータベースに蓄積されます。

クライアントからログを取得する場合

印刷ログ監視クライアント → 印刷ログ取得サーバ → **PrintDirector 本体**

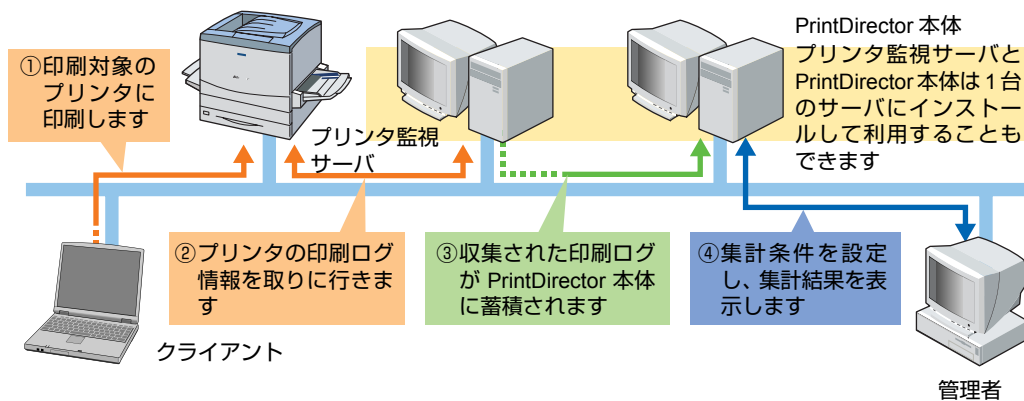
システム構成の例 1 ～ 2、4 ～ 5 に該当します。



ジョブ MIB 対応プリンタからログを取得する場合

プリンタ監視サーバ → **PrintDirector 本体**

システム構成の例 3 に該当します。



システム条件

サーバ用コンポーネント動作環境

PrintDirector 本体、プリンタ監視サーバ、印刷ログ取得サーバが動作可能な環境です。

CPU	Pentium4 1.0GHz 以上推奨	
OS (64bit OS 非対応)	- Windows 2000 Server/Advanced Server (Service Pack4 以降) - Windows Server 2003 Enterprise Edition/Standard Edition (Service Pack1 以降) 本ソフトウェアをネットワーク環境で使用する場合、サーバーソフトウェアとしての使用を許諾されていない OS にインストールして使用すると、マイクロソフトコーポレーションの使用許諾に違反する場合があります。詳細については、OS の使用許諾契約をご確認ください。	
メモリ	512MB 以上推奨	
ハードディスク	すべてを1つのコンピュータにインストール時 (PrintDirector 本体、プリンタ監視サーバ、印刷ログ取得サーバ)	300MB * 以上の空き容量
	プリンタ監視サーバのみインストール時	20MB * 以上を推奨
	印刷ログ取得サーバのみインストール時	20MB * 以上を推奨
プロトコル	TCP/IP プロトコル (IP アドレスが設定されていること。なお DHCP による自動 IP 割り振り環境では使用できません。)	

* 監視プリンタ台数、登録ユーザー数により使用サイズは異なります。

クライアント用コンポーネント動作環境

印刷ログ監視クライアントが動作可能な環境です。

CPU	Pentium3 500MHz 以上推奨
OS (64bit OS 非対応)	- Windows 2000 Server/Professional/Advanced Server (Service Pack4 以降) - Windows XP Professional/HomeEdition (Service Pack2 以降) - Windows Server 2003 Enterprise Edition/Standard Edition (Service Pack1 以降) - Windows Vista
メモリ	64MB 以上推奨
ハードディスク	2MB 以上の空き容量
プロトコル	TCP/IP プロトコル (IP アドレスが設定されていること。)

対象プリンタ及び対象ネットワークインターフェイスカード

本製品で管理・ログ取得可能なプリンタおよびネットワークインターフェイスカードについては、エプソンのホームページを参照してください (<http://www.epson.jp/products/offrio/sw/printing/index.htm>)。

ログ取得が可能なプリンタとの接続形態

接続形態		ポート名
LPR	OS 標準 (Standart TCP/IP)	192.168.y.z IP_192.168.y.z
	EpsonNet Print	191.168.y.z
MSNetwork 共有 * 1		¥ ¥Server_Name¥Printer_Share
Local Pararell * 2		LPT :
Local USB * 2		USBXXX

- * 1 サーバで取得：プリントサーバに「印刷ログ監視クライアント」をインストールして、プリントサーバ側でログを取得する。
LocalPort 接続で取得：プリンタ接続ポートをローカルポートに割り当てることで印刷ログの取得が可能となる。
部数印刷制限を有効にしたときは、net use コマンドで割り当てたローカルポートへ印刷ができなくなります。
- * 2 クライアントに「印刷ログ監視クライアント」がインストールされて、パラレルまたは USB でプリンタを接続している場合。

！重要

- ログはポート名ごとに集計されます。1 台のプリンタを異なるポートで使用する時は、[同一視するデバイスポート名]として登録する必要があります。
- DHCP による自動 IP 割り振り環境では使用できません。

ログ取得が可能なスキャナ及びコピーシステムの接続形態

以下の条件を満たす場合のみログを取得できます。

- スキャナがコピーシステムとして接続されている。
- コピーシステムがネットワークに接続されている。
- EpsonNet ScanComposer がネットワーク上のサーバにインストールされ、各種設定が終了している (EpsonNet ScanComposer の設定については、コピーシステムの取扱説明書を参照してください)。

参考

コピーシステムでコピーを実行した際のログを取得する場合は、コピーシステムとして接続したプリンタが直接ネットワークに接続されている必要があります。

対応ブラウザ

本製品を表示可能なブラウザは以下の表になります。

ブラウザ	Java Plug-In Ver.
Microsoft Internet Explorer Ver.6 以降	Java Runtime Environment (JRE) 1.5 以降 (Windows Vista 使用時：1.6 以降)

制限事項

ログ取得における制限事項

印刷ログ監視クライアントによるログ取得での制限事項

- プリンタによっては片面／両面が正確に判別できないため、ページ数が実際の出力枚数と異なる場合があります。
- プリンタによっては部単位／ページ単位が正確に取得できないことがあります。
- 印刷ジョブに対して印刷中止またはプリントマネージャーから一時停止、キャンセル、削除を行った場合、印刷情報が正確に取得できないことがあります。
- エプソン製プリンタ以外では、用紙サイズ、モノクロ／カラー、解像度、片面／両面などの情報が正確に取得できないものもあります。
- 1 ドキュメントに異なる用紙方向・用紙サイズ・色・解像度を持つことができるアプリケーション（Microsoft Word など）では、出力された用紙方向・用紙サイズ・色・解像度・実印刷枚数が正確に取得できない場合があります（Microsoft Word では、1 ページのデータを部単位印刷した場合のログは、1 ページとして記録されます）。
- PostScript のドライバを使用して印刷した場合は印刷ログを取得できません。
- 印刷物の加工や割付を行う印刷ツールでは印刷情報が正確に取得できないことがあります。
- エプソン製ページプリンタ以外では、拡大／縮小で用紙サイズと出力用紙サイズが異なる印刷を行った場合、用紙サイズが正しく取得できないことがあります。
- エプソン製ページプリンタ以外では、割付などのレイアウト情報は取得できません。
- 解像度の設定に「はやい / きれい」以外に「よりきれい」の選択が可能なプリンタで印刷しても「よりきれい」は「きれい」としてログに保存されます。
- プリンタによっては用紙種類に「厚紙（小） / 厚紙（大） / 特厚紙」などを選択して印刷しても「厚紙」としてログに保存されます。
- アプリケーションによっては [印刷] ダイアログボックスの「ファイルへ出力」チェックボックスを ON にして印刷を行った場合、印刷に使用したプリンタに割り当てられているポート名がログに保存されます。
- Microsoft Word から「部単位で印刷」をオフにして複数部印刷すると、「実印刷枚数」を正しく取得できません。
- スプールデータ形式を「EMF」に設定し、Microsoft Word から印刷した場合、「実印刷枚数」を正しく取得できません。
- USB メモリプリントメーカーを使用したときの印刷ログは集計されません。
- プリンタの電源が切れたまま印刷をして、コンピュータのスプーラにジョブを残したままにしておくと、次回コンピュータ起動時にジョブが再試行されるため、ログが二重に取得されることがあります。
- 印刷時にプリンタではなくファイルに出力したログも取得されます。

プリンタ監視サーバによるログ取得での制限事項

プリンタ監視サーバで印刷ログを取得する場合、以下のような制限があります。

- プリンタ監視サーバで監視できるプリンタは TCP/IP 接続されたエプソン製のジョブ MIB 対応プリンタのみです。
- 印刷アプリケーション名、プリンタプロセッサ名、データタイプ、印刷精度、用紙方向、割付枚数、部単位印刷は取得できません。
- 印刷中や印刷終了後 1 分以内にプリンタの電源を切ったり、リセットを行うと印刷枚数や用紙種別などの情報が正確に取得できないことがあります。
- 使用するプリンタドライバによっては、ユーザー名やコンピュータ名が取得できないことがあります。この場合はユーザー名「unknown」として扱われます。
- 一つの印刷ジョブにおいて、片面印刷と両面印刷が混在した場合は両面印刷、モノクロ印刷とカラー印刷が混在した場合はカラー印刷として扱われます。
- 印刷開始時刻や印刷終了時刻はプリンタ監視サーバをインストールしたコンピュータの時刻をもとに計算されます。プリンタ監視サーバをインストールしたコンピュータの時刻を正しく設定してください。
- クライアントで監視していたプリンタをプリンタ監視サーバでの監視に切り替えたとき、プリンタ側に記録が残っている印刷情報は二重に登録されることがあります。回避するためには監視を切り替える前にプリンタの電源を入れ直してください。
- PostScript で印刷した場合、ユーザー名、コンピュータ名、OS 名などの情報は取得できません（一部の機種で取得することができるものもあります。詳しくは、エプソンのホームページ（<http://www.epson.jp/products/offirio/sw/printing/index.htm>）を参照してください）。
- Windows XP で印刷したとき、OS が「Win2K」と記録されることがあります。
- NetBEUI 接続プリンタへ印刷した場合、ドキュメント名など一部の情報が取得できないことがあります。
- 1 ドキュメントに異なる用紙方向・用紙サイズ・色・解像度を持つことができるアプリケーション（Microsoft Word など）では、出力された用紙方向・用紙サイズ・色・実印刷枚数が正確に取得できない場合があります。
- プリンタに USB メモリ（USB フラッシュメモリなどのデバイス）から直接印刷をしたときのコンピュータ名は "UnknownHost"、ユーザー名は USB メモリの製造番号になります（ログインユーザー ID にはなりません）。
- プリンタに USB メモリからの直接印刷機能で、インデックス印刷、JPEG、TIFF、PDF ファイルの印刷をしたときの OS 名、プリンタドライバ名、プリンタ名は "Unknown" になります。

印刷制限機能の制限事項

- プリントサーバに印刷ログ監視クライアントをインストールした時には、クライアント側でプリンタを LocalPort に割り当てていると、プリントサーバ上でログが取得できないため印刷制限を行うことはできません。プリンタを LocalPort に割り当てているクライアントについては、クライアントごとに印刷ログ監視クライアントをインストールしてください。
- 印刷ログ監視クライアントから印刷ログ取得サーバへの印刷可否判定の問い合わせに対する応答が、印刷ログ取得サーバから送られてこない時（印刷ログ取得サーバがダウンしているなど）には無条件で印刷を許可します（ただし出力までに時間がかかります）。
- スキャナとプリンタを組み合わせた、コピーシステムで発生するコピーのジョブに対しては、印刷制限機能を使用することはできません。
- USB メモリプリントメーカーで作成した印刷データは、実際にプリンタで印刷をしなくても、制限情報（枚数カウントや上限判定）の対象になります。
- プリンタに USB メモリから直接印刷をするときは、印刷制限機能を使用できません。

印刷費計算機能の制限事項

- 印刷費設定の確認は管理者だけが実行できます。
- 1 台の PrintDirector 本体で複数の通貨単位を用いて印刷費を計算することはできません。
- 初期値となる印刷費の単価設定（「レポート」-「集計」-「印刷単価設定」）をしないと印刷費計算機能は使用できません。
- 正確な金額を集計するために、小数点以下の桁数を確認し、設定してください（初期値では小数点以下 2 桁で計算）。

複数印刷（繰り返し印刷、部数印刷）の制限機能の制限事項

- 部数印刷制限が動作する機種は限定されます。
対象機種については、エプソンのホームページ（<http://www.epson.jp/products/offirio/sw/printing/index.htm>）でご確認ください（ESC/PageS Printing System 機は対象外）。
また、以下のすべてに該当する場合のみ機能します。
 - ・ 搭載メモリが 128MB 以上
 - ・ スプールデータ形式が RAW
 - ・ プリンタプロパティの「詳細設定」タブのスプール設定が、「プリンタに直接印刷データを送る」以外の設定
 - ・ プリンタ印刷設定の「環境設定」タブ - ドライバ「拡張設定」の「アプリケーションの部単位印刷を優先」にチェックが付いている
- あるデータを 2 部以上印刷した場合に、1 つの印刷ジョブとならずに 2 つ以上の印刷ジョブとなるアプリケーション（Microsoft Excel など）では、繰り返し印刷を拒否する設定にすると繰り返し印刷、部数印刷（2 部目以降）とともに拒否されます。
- 部数印刷制限を有効にした場合、接続形態が MSNetwork 共有などの net use コマンドで割り当てたローカルポートへ、印刷ができなくなります。
- 部数分の印刷データを作成する、以下のようなアプリケーションでは機能しません。
 - ・ Outlook で「部単位で印刷する」にチェックを付けて、部数印刷

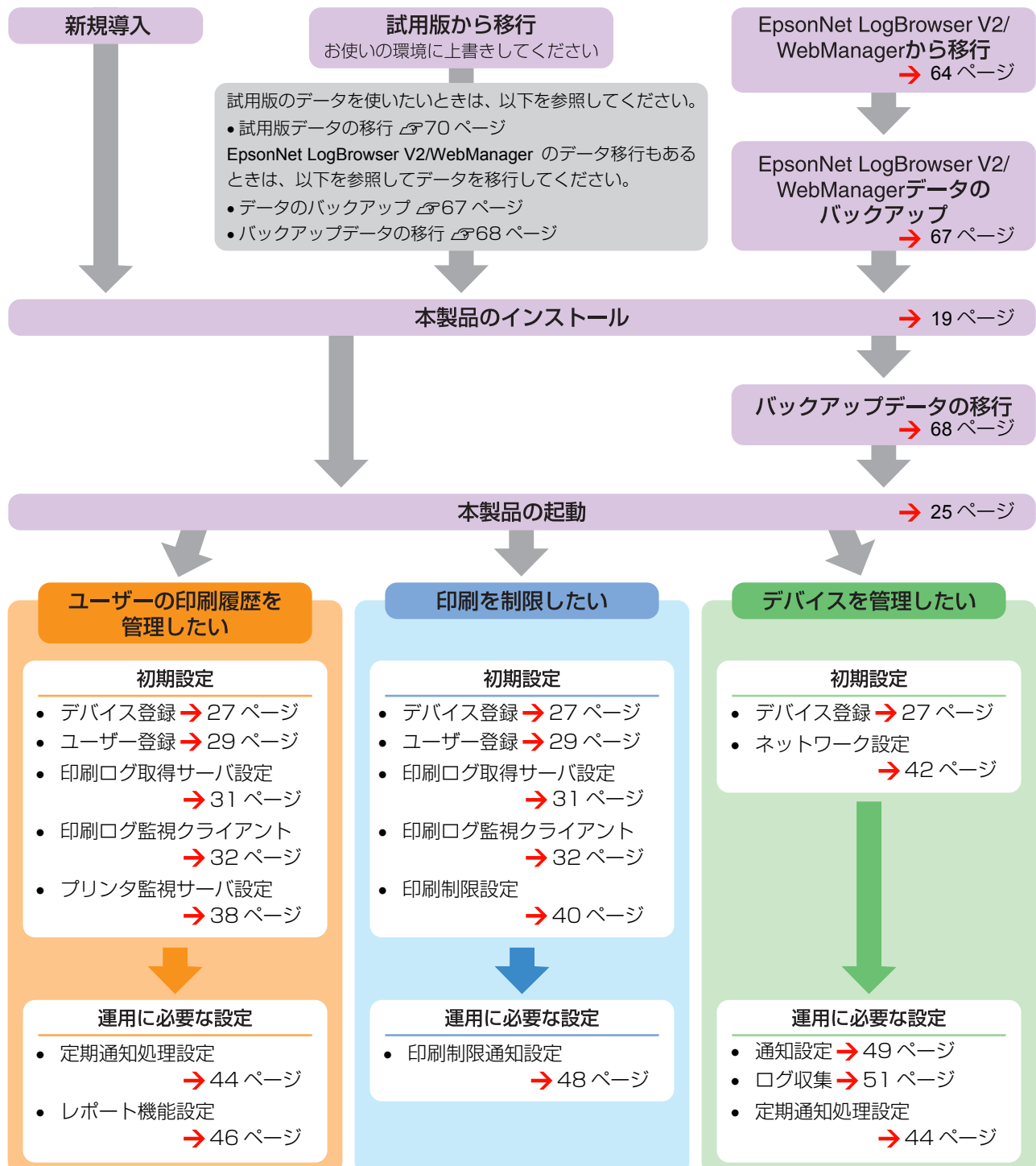
インストールと起動

セットアップの流れ

本製品のインストールから、運用を開始するまでのセットアップの流れを説明します。

EpsonNet LogBrowser V2/WebManager から移行や、試用版から移行の詳細は以下を参照してください。

→ 64 ページ「EpsonNet LogBrowser V2/WebManager から移行」



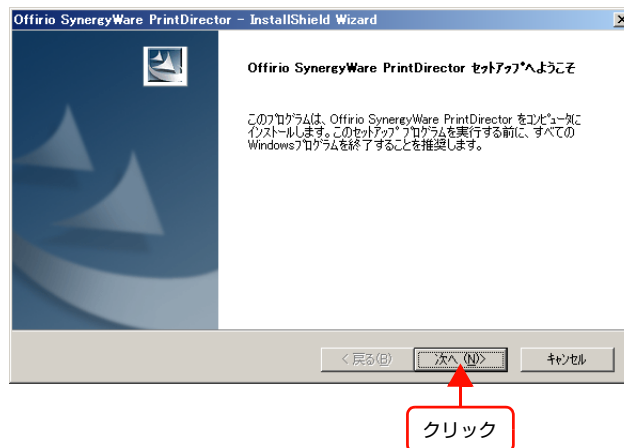
本製品をインストールする

メインサーバ(PrintDirector 本体)へのインストール

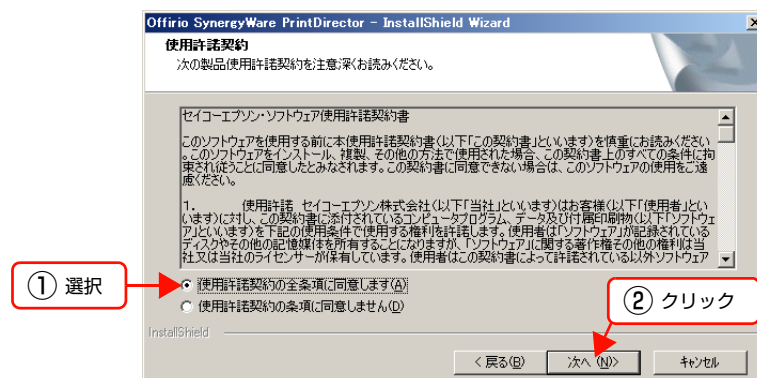
EpsonNet LogBrowser V2/WebManager を使用していたときは、以下を参照してからインストールをしてください。

→ 64 ページ「EpsonNet LogBrowser V2/WebManager から移行」

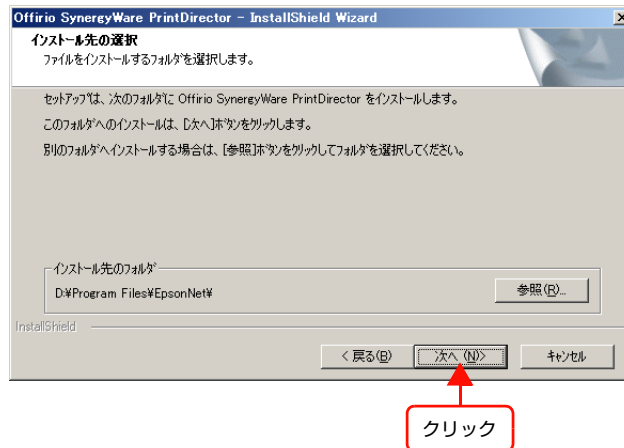
- 1 本製品のソフトウェア CD-ROM をコンピュータにセットします。
- 2 [本製品をインストール (新規)] の右側に表示されたボタンをクリックします。
EpsonNet LogBrowser V2/WebManager がインストールされていると検知されます。
- 3 [次へ] をクリックします。



- 4 使用許諾契約が表示されるので、内容を確認し [使用許諾契約の全条項に同意します] を選択して、[次へ] をクリックします。



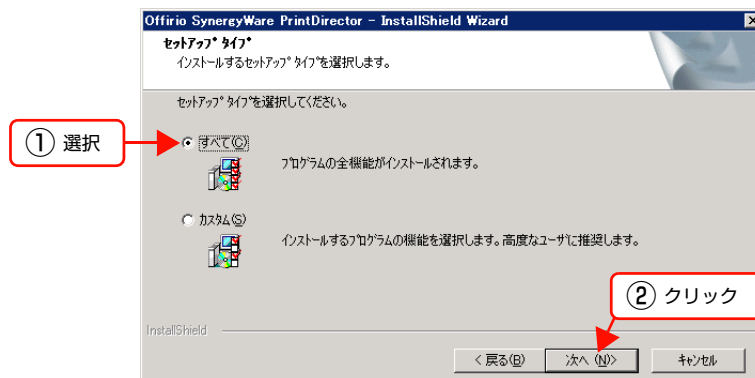
5 インストール先フォルダを確認して、[次へ] をクリックします。



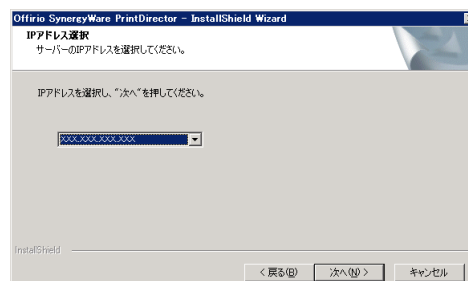
6 [すべて] を選択して、[次へ] をクリックします。

[すべて] を選択すると、**PrintDirector 本体**、**印刷ログ取得サーバ**、**プリンタ監視サーバ**をインストールします。

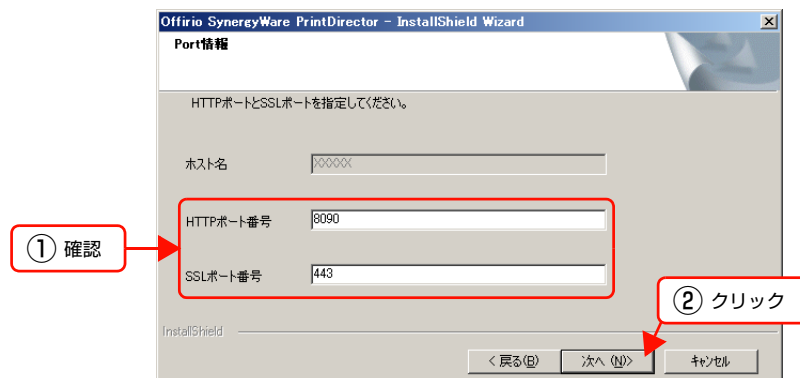
！重要 ジョブ MIB 対応プリンタの台数が 25 台以上(ログ取得間隔により異なります)の場合やログ取得対象コンピュータの台数が 250 台以上(印刷のタイミングによりサーバへの負荷状況が変わるため 250 台を目安としてください)の場合で、補助サーバにコンポーネントをインストールするときは、[カスタム] を選択して、インストールしてください。同じ環境に [PrintDirector 本体] をインストールしたサーバが 2 台以上存在すると、ログが正常に取得できません。



参考 インストールしているサーバに複数の IP アドレスが設定されていると以下の画面が表示されます。PrintDirector 本体として使用する IP アドレスを指定してください。



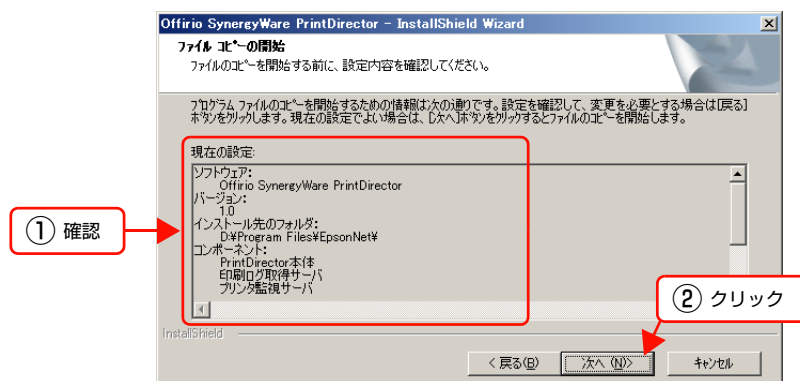
7 Port 情報を確認して、[次へ] をクリックします。



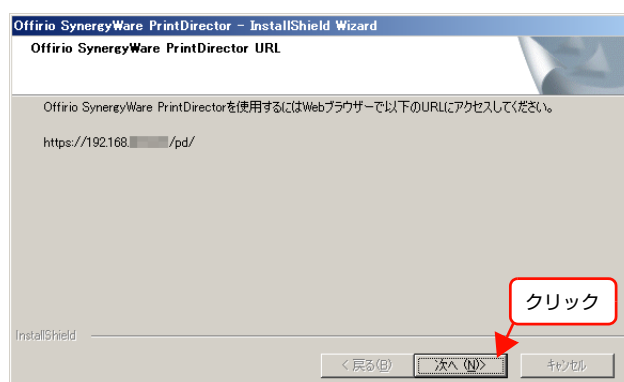
- 参考**
- 各ポートは任意に変更できますが、通常はデフォルトのポートを使用してください。
 - ポートがすでに使用中のときは、アラートが表示されますので画面の指示に従ってください。

8 インストール内容を確認して、[次へ] をクリックします。

インストールが始まります。

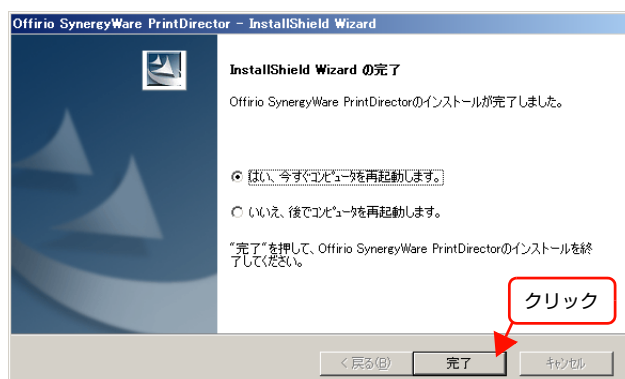


9 画面の内容を確認して、[次へ] をクリックします。



10 【完了】をクリックします。

再起動を促すメッセージが表示されたときは、コンピュータを再起動させてください。
以上でメインサーバへのインストールは終了です。



補助サーバへのインストール

ログを取得するジョブ MIB 対応プリンタが 25 台以上（ログ取得間隔により異なります）またはクライアントが 250 台以上（印刷のタイミングによりサーバへの負荷状況が変わるため 250 台を目安としてください）の場合は、ログを取得する補助サーバを別途用意する必要があります。補助サーバにコンポーネントをインストールする場合は、以下の手順に従ってください。

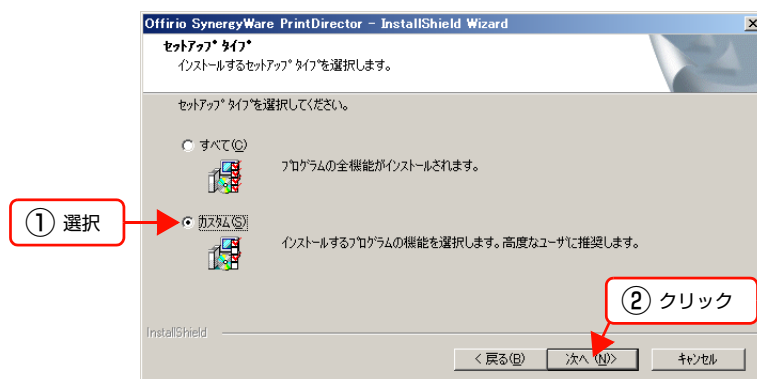
参考 補助サーバを別途用意する場合は、メインサーバとして使用しているコンピュータと日時を合わせてください。

1 インストールする補助サーバの役割（ジョブ MIB 対応プリンタ監視用かクライアントログ取得用か）を確認します。

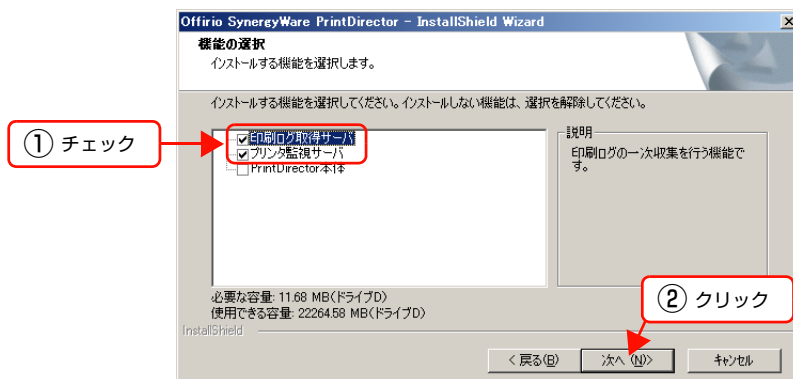
→ 6 ページ「本製品の構成要素について」

2 「メインサーバ（PrintDirector 本体）へのインストール」手順 **1** ～ **5** に従ってインストールを進めます。

3 【カスタム】を選択して、【次へ】をクリックします。

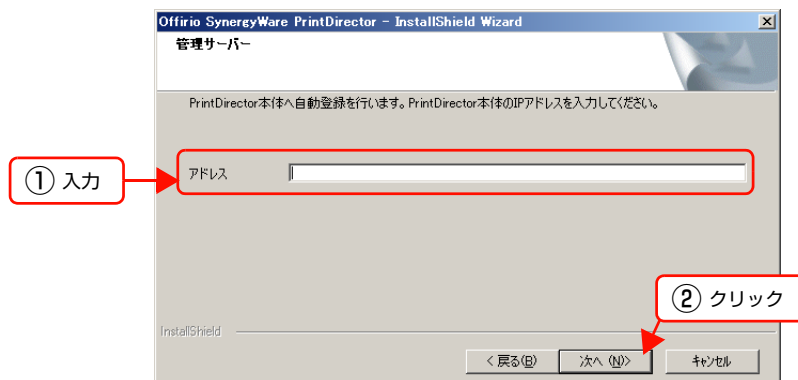


- 4 補助サーバの役割に応じて、**印刷ログ取得サーバ** または **プリンタ監視サーバ** をチェックを付けて、**次へ** をクリックします。



- 5 メインサーバ (**PrintDirector 本体**をインストールしたサーバ) の IP アドレスを入力して、**次へ** をクリックします。

補助サーバの IP アドレスが、メインサーバ (**PrintDirector 本体**) に自動登録されます。



参考 インストールしているサーバに複数の IP アドレスが設定されていると IP アドレスの選択画面が表示されます。印刷ログ取得サーバ / プリンタ監視サーバとして使用する IP アドレスを指定してください。

- 6 この後は、画面の指示に従いインストールしてください。

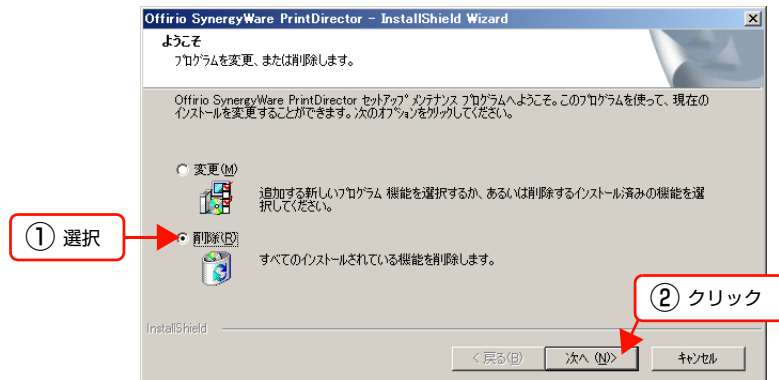
再起動を促すメッセージが表示されたときは、コンピュータを再起動させてください。

削除(アンインストール)する

サーバ機能の削除(アンインストール)

削除を実行すると、すべてのサーバ機能が削除されます。削除するサーバ機能を選択することはできません。

- 1 [コントロールパネル] の [プログラムの追加と削除] (または [アプリケーションの追加と削除]) を起動します。
- 2 [Offirio SynergyWare PrintDirector] をクリックして [変更と削除] をクリックします。
- 3 [削除] を選択して、[次へ] をクリックします。



- 4 [はい] をクリックします。



- 5 [完了] をクリックします。

- 6 コンピュータを再起動します。

以上で終了です。

！重要 モジュールが使用中とのエラーが表示されたときは、しばらくしてから再度削除を実行してください。

本製品を起動してログインする

メインサーバ(PrintDirector 本体)からの起動

インストール時に作成したデスクトップ上のアイコンから起動する方法と、[スタート] から起動する方法があります。



[スタート] から起動するときは、以下の順にクリックしてください。

- [スタート] - [プログラム] (または [すべてのプログラム]) - [EpsonNet] - [PrintDirector] - [Offirio SynergyWare PrintDirector]

この後セキュリティの警告画面または証明書エラー画面が表示されます。[はい] または [このサイトの閲覧を続行する (推奨されません)。] をクリックしてください。

メインサーバ(PrintDirector 本体)以外からの起動

PrintDirector 本体をインストールしたメインサーバの IP アドレスと指定の書式を入力することで、リモートアクセスすることが可能です。

1

Web ブラウザを起動します。

2

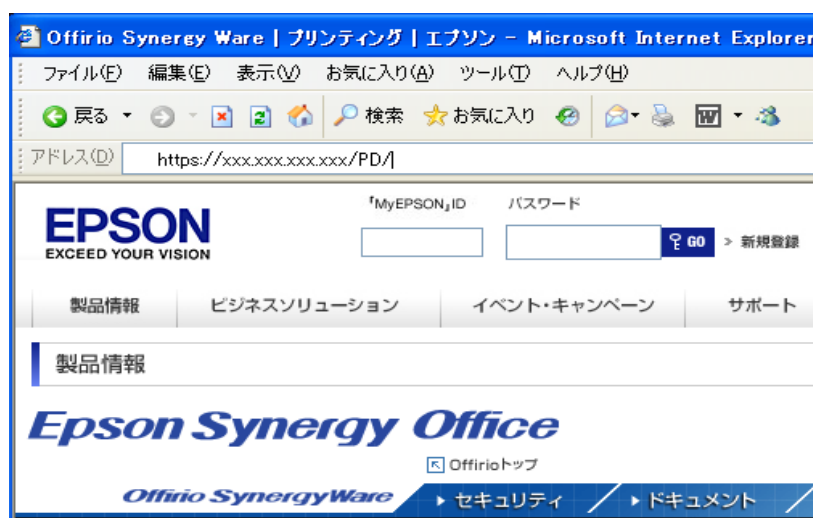
Web ブラウザで、下記の URL を入力して [Enter] または [Return] キーを押します。

書式) <https://メインサーバのIPアドレスまたはホスト名/PD/>

例) <https://192.168.100.10/PD/>

SSL ポート番号を変更したときは、/PD の前に「: 変更した SSL ポート番号」を入力してください。

SSL ポートを 444 にした例) <https://192.168.100.10:444/PD/>



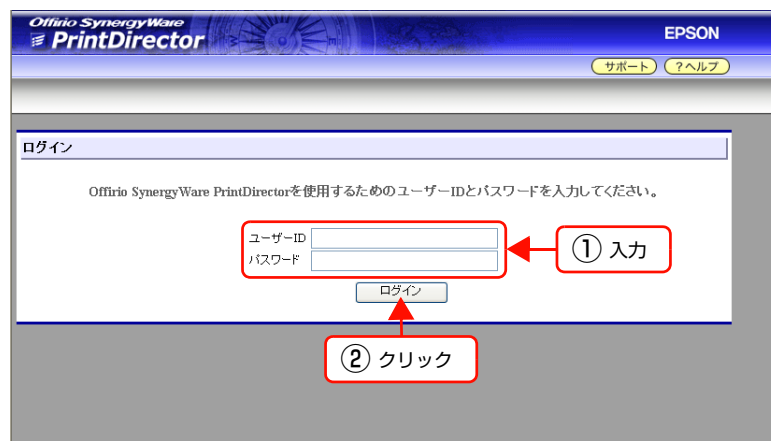
この後セキュリティの警告画面または証明書エラー画面が表示されます。[はい] または [このサイトの閲覧を続行する (推奨されません)。] をクリックしてください。

本製品へのログイン

本製品へのログインには、システム管理者用（すべての設定が可能）、管理者用（グループの作成や印刷制限の設定が可能）、集計者用（集計機能の使用が可能）および一般ユーザー用（印刷枚数などの確認が可能）の4つの権限があります。ここでは、システム管理者でのログインを説明します。

1

【ユーザー ID】、【パスワード】に「administrator」と入力して、【ログイン】をクリックします。

**参考**

- 20 分間何も操作がなかった場合は、認証期限が切れますので、再度ログインする必要があります。
- ログイン後にパスワードは変更できます。
- ユーザー ID の「administrator」はシステム管理者のため変更できません。

次にサーバ環境を設定します。

初期設定

付録の「メモしておきましょう」のシートを出力して、設定する項目を書き留めておくことをお勧めします。

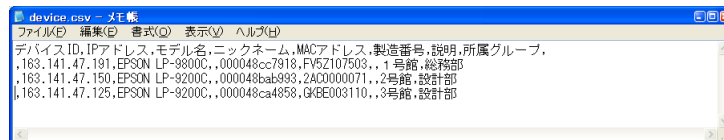
→ 79 ページ「メモしておきましょう (Print Director)」

デバイス登録

プリンタ監視サーバで監視するプリンタを登録します。

- 参考** ここではデバイス（プリンタなど）を一括で登録する方法を説明しますが、デバイス情報は以下の方法でも登録できます。
- **デバイスを検索して登録する**
IP アドレスを指定（ブロードキャストまたは個別指定）して、見つかったデバイスを登録できます（デバイスの電源を入れておいてください）。
[設定] - [デバイス] タブ - [デバイス探索] で登録します。
 - **一台ずつ登録する**
[設定] - [デバイス] タブ - [デバイス探索] をクリックし、[個別指定] の IP アドレスに入力後 [探索開始] をクリックして、表示された画面で一台ずつ登録できます。デバイスの電源が入ってなくても登録できます。なお IP アドレスを正しく入力しないと登録できません。

1 デバイス情報を記載した CSV ファイルを作成します。



- 参考** CSV ファイルの書式は、1 行目に各項目名、2 行目以降に実際に取り込むデバイスの情報を記載します。1 行が 1 件のデバイス情報になります。1 件分の情報は以下の順で各項目が入ります。項目間はカンマ (,) で区切ります。
- デバイス ID（新規ファイル作成または新規プリンタ追加時は、値を入力せずカンマのみ入力してください）
 - IP アドレス
 - モデル名
 - ニックネーム
 - MAC アドレス
 - 製造番号
 - 説明
 - 所属グループ（所属グループが複数あるときは、これ以降カンマで区切って追加します）
- インポート時の必須項目は、IP アドレスです。

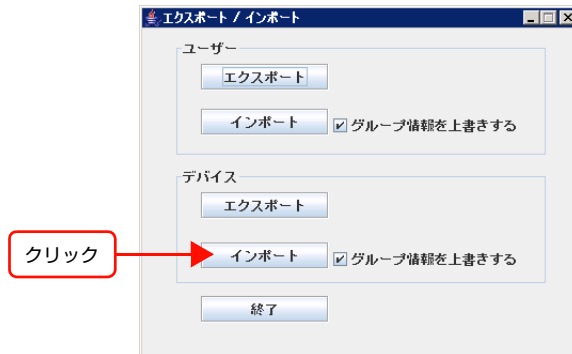
！重要 エクスポートした CSV ファイルを編集してインポートし直すときは、デバイス ID の値は変更しないでください（デバイス ID でデバイス管理をしているため、変更するとデバイス管理ができなくなります）。

2 本製品（PrintDirector 本体）をインストールしたコンピュータで、[エクスポートインポートツール] を起動します。

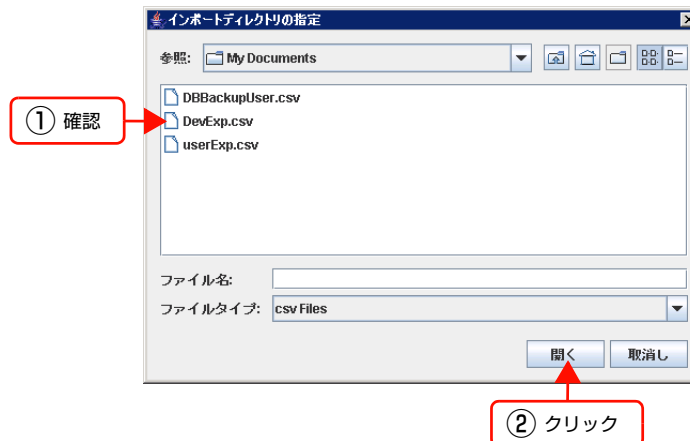
[スタート] - [プログラム]（または [すべてのプログラム]） - [EpsonNet] - [PrintDirector] - [Tools] - [エクスポートインポートツール] をクリック

3 デバイスの [インポート] をクリックします。

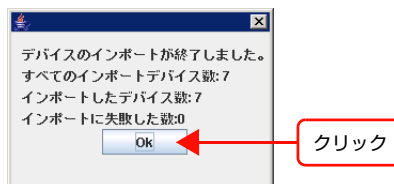
参考 チェックを付けずに [インポート] をクリックすると、登録済み情報との差分の情報のみ追加されます。[グループ情報を上書きする] を選択すると、すべて CSV ファイルに記載したグループ情報に変更されます。初期値は [グループ情報を上書きする] にチェックが付いています。



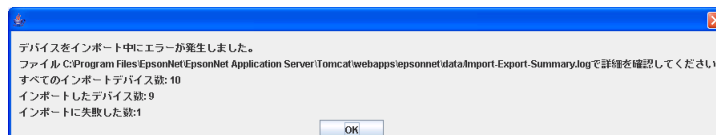
4 手順 1 で作成した CSV ファイルを選択して、[開く] をクリックします。



5 [OK] をクリックします。



参考 インポートに失敗したときは以下の画面が表示されます。



画面に表示のファイルを開くと、エラーが発生したデバイスとその理由を確認できます。記載のエラー理由を参考に、CSV ファイルを修正してから再度インポートしてみてください。

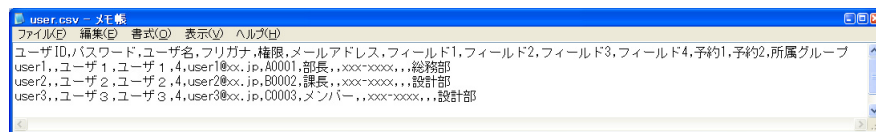
以上で終了です。

ユーザー登録

ユーザー情報を記述した CSV ファイルを使って、ユーザー情報を登録します。

- 参考** ここではすべてのユーザーを一括で登録するための方法を説明しますが、ユーザー情報は、以下の方法でも登録できます。
- **印刷ログの情報から登録する**
取得した印刷ログ内のユーザーを登録することができます。[設定] - [ユーザー] タブ - [ユーザー自動登録] で実行することができます。
 - **一人ずつ登録する**
[設定] - [ユーザー] タブ - [ユーザー登録] をクリックし、各項目に情報を入力して [登録] をクリックすると一人ずつ登録できます。

1 ユーザー情報を記載した CSV ファイルを作成します。



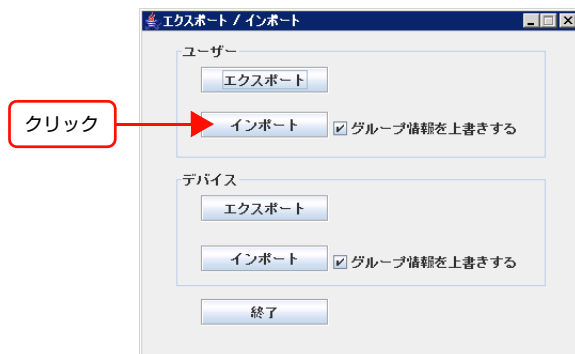
- 参考**
- CSV ファイルの書式は、1 行目に各項目名、2 行目以降に実際に取り込むユーザーの情報を記載します。1 行が 1 件のユーザー情報になります。1 件分の情報は以下の順で各項目が入ります。項目間はカンマ (,) で区切ります。
 - ・ ユーザ ID
 - ・ パスワード
 - ・ ユーザ名
 - ・ フリガナ
 - ・ 権限（権限の設定は 2：管理者ユーザー、3：レポートユーザー、4：一般ユーザーになっています。なおシステム管理者権限は CSV で設定できません。）
 - ・ メールアドレス
 - ・ フィールド 1
 - ・ フィールド 2
 - ・ フィールド 3
 - ・ フィールド 4
 - ・ 予約 1
 - ・ 予約 2
 - ・ 所属グループ（所属グループが複数あるときは、これ以降カンマで区切って追加します）
 - インポート時の必須項目はユーザー ID です。新規ユーザー登録で権限を省略したときは、一般ユーザー権限として登録されます。
 - ユーザー名はネットワークへのログイン名にしてください。それ以外の文字列を使用してもログは取得できません。
 - ユーザー名だけ登録すればログは取得できます。その他の情報は、ユーザー登録後修正することもできます。

2 本製品をインストールしたコンピュータで、[エクスポートインポートツール] を起動します。

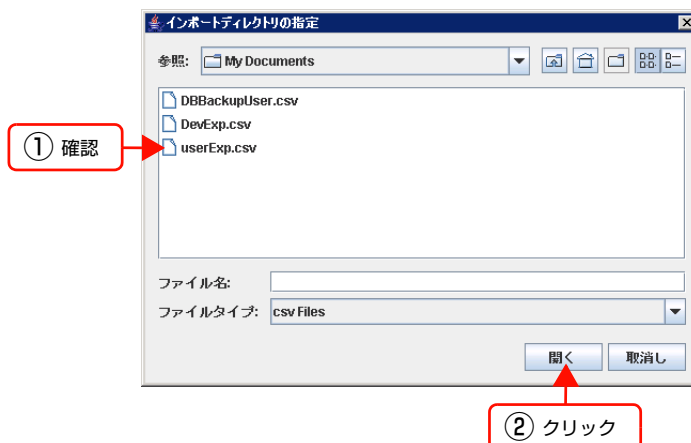
[スタート] - [プログラム]（または [すべてのプログラム]） - [EpsonNet] - [PrintDirector] - [Tools] - [エクスポートインポートツール] をクリック

3 ユーザーの [インポート] をクリックします。

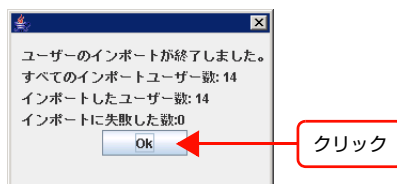
参考 チェックを付けずに [インポート] をクリックすると、登録済み情報との差分の情報のみ追加されます。[グループ情報を上書きする] を選択すると、すべて CSV ファイルに記載したグループ情報に変更されます。初期値は [グループ情報を上書きする] にチェックが付いています。



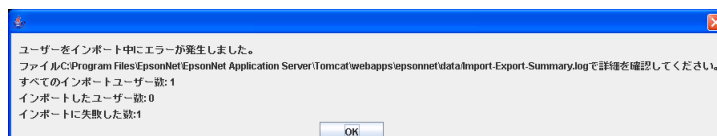
4 手順 1 で作成した CSV ファイルを選択して、[開く] をクリックします。



5 [OK] をクリックします。



参考 インポートに失敗したときは以下の画面が表示されます。



画面に表示のファイルを開くと、エラーが発生したユーザーとその理由を確認できます。記載のエラー理由を参考に、CSV ファイルを修正してから再度インポートしてみてください。

以上で終了です。

印刷ログ取得サーバ設定

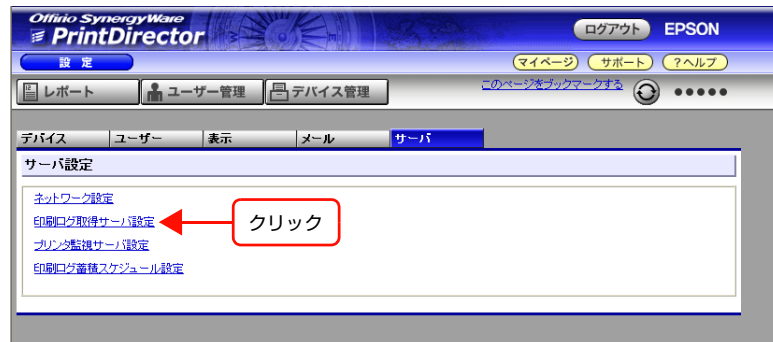
印刷ログ取得サーバを登録します。

監視するコンピュータの台数が 250 台以上の場合に、補助用の印刷ログ取得サーバを登録します。

印刷を制限（印刷制限設定）したいときは、必ず設定してください。

参考 ログ取得の対象となるコンピュータ（クライアントと EpsonNet ScanComposer をインストールしたサーバ）の台数が 250 台未満（印刷のタイミングによりサーバへの負荷状況が変わるため 250 台を目安としてください）の場合は、メインサーバと同じサーバを使用できます。メインサーバの IP アドレスは、[標準] インストール時に自動的に登録されます。

1 [設定] - [サーバ] タブ - [印刷ログ取得サーバ設定] をクリックします。



2 [印刷ログ取得サーバ一覧] を確認して [編集] をクリックします。

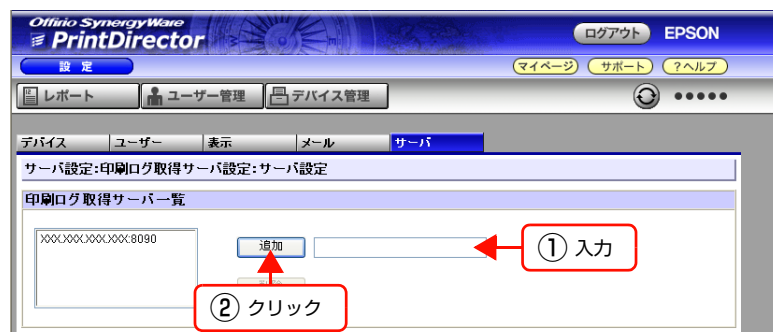
本書の手順では、メインサーバと同じサーバを使用します。メインサーバの IP アドレスは、すべてインストール時に自動登録されます。



3 印刷ログ取得サーバをインストールした、補助サーバの IP アドレスを右側のテキストボックスに入力して、[追加] をクリックします。

印刷ログ取得サーバが複数存在する場合には、手順 3 を繰り返します。

補助サーバにコンポーネントをインストールした時に、メインサーバの IP アドレスを入力した場合は、自動登録されています。



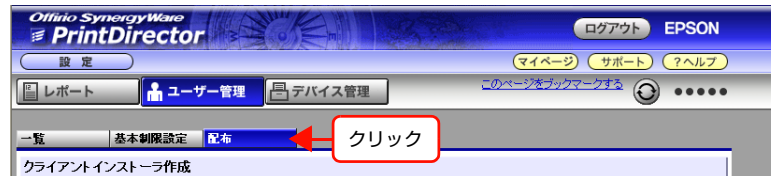
以上で終了です。

印刷ログ監視クライアント

クライアントの印刷ログを印刷ログ取得サーバに送信するための印刷ログ監視クライアントのインストーラを作成します。このインストーラをクライアントにインストールすることで、印刷ログを収集できます。

1

 ユーザー管理 - [配布] タブをクリックします。



2

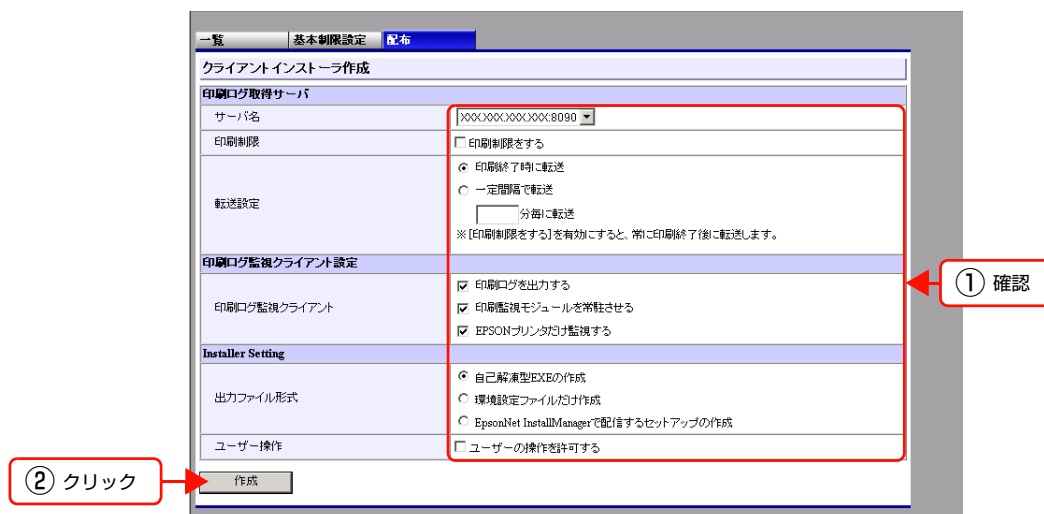
各項目を設定して、[作成] をクリックします。

補助サーバを用意してある場合は、対象の補助サーバを選択してください。

印刷制限機能を使用する場合は、[印刷制限をする] にチェックを付けてください。

印刷制限機能を使用しない場合は、必ず [印刷制限をする] のチェックを外してください。

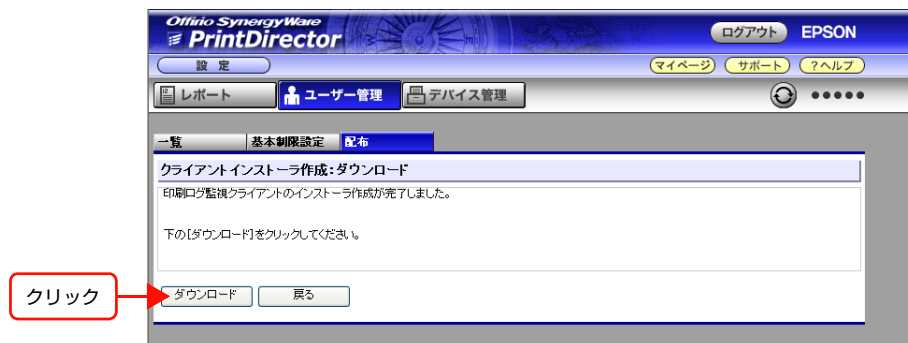
印刷制限機能を使用するときの [転送設定] は、[一定間隔で転送] を選択しても [印刷終了時に転送] で動作します。



参考 EpsonNet InstallManager を使って配布する方法は、EpsonNet InstallManager の取扱説明書を参照してください。
EpsonNet InstallManager の詳細は、エプソンのホームページを参照してください。(http://www.epson.jp)

3 [ダウンロード] をクリックして、インストーラを保存します。

印刷ログ取得サーバが複数存在する場合は、サーバの数だけインストーラを作成します。



参考

〔自己解凍型 EXE の作成〕で作成したファイル名は、「PrintDirectorClient.exe」となります。また、〔EpsonNet InstallManager で配信するセットアップの作成〕で作成したファイル名は、「client_enim.exe」となります。複数のインストーラを作成する場合、上書きしないようご注意ください。

4 作成したインストーラを、各クライアントに配布または共有サーバに置きアドレスをクライアントに通知します。

以上で終了です。

次にクライアントにインストールする手順を説明します。

各クライアントまたは、プリントサーバでインストールを実行する

管理者から通知または送付されたインストーラを実行して、[印刷ログ監視クライアント](#)をインストールします。
この章をクライアントに参照していただき、インストール作業にお役立てください。

！重要 EpsonNet LogBrowser V2 の印刷ログ監視クライアントをインストール済みの環境に、本製品の印刷ログ監視クライアントはインストールできません。
必ず EpsonNet LogBrowser V2 の印刷ログ監視クライアントを削除してから、インストールしてください。

参考

- インストーラ作成時に「環境設定ファイルだけ作成」を選択した場合は、以前インストールした環境設定ファイルを上書きします。印刷ログ監視クライアントをインストールしたコンピュータで、以下のフォルダに環境設定ファイル (prtlogcl.ini) を上書きコピーして、コンピュータを再起動してください。
Windows XP/Vista の場合：WINDOWS フォルダ（システムのファイルがあるフォルダ）
Windows 2000/Server 2003 の場合：WINNT フォルダ（システムのファイルがあるフォルダ）
- インストーラ作成時に「EpsonNet InstallManager で配信するセットアップの作成」を選択した場合は、EpsonNet InstallManager の取扱説明書を参照して、クライアントでのインストールを実行してください。

自己解凍型 EXE ファイルの場合

インストーラ作成時に、「自己解凍型 EXE の作成」を選択した場合のインストール手順を説明します。

1 「PrintDirectorClient.EXE」をダブルクリックして、「解凍」をクリックします。



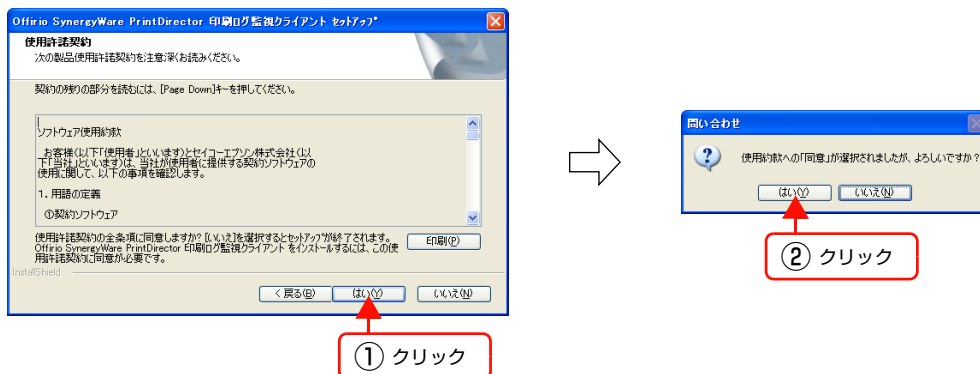
参考 インストーラ作成時に「EpsonNet InstallManager で配信するセットアップの作成」を選択した場合も自己解凍型のファイルが生成されますが、次の手順2には進みません。この後の手順は、EpsonNet InstallManager の取扱説明書を参照してください。

2 「次へ」をクリックします。

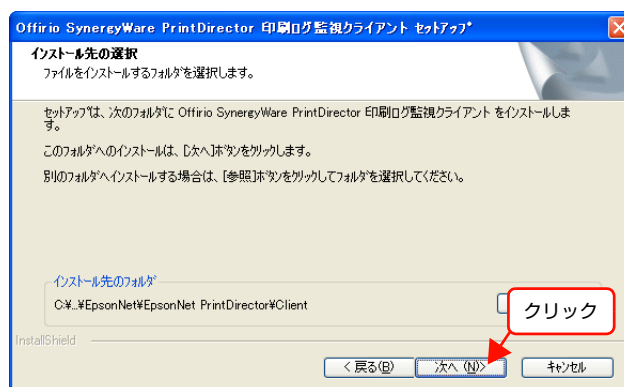
クライアントインストーラ作成時の設定で、「ユーザーの操作を許可する」にチェックを付けなかったときは、手順 2 ～ 6 の画面は表示されません。手順 7 へ進みます。



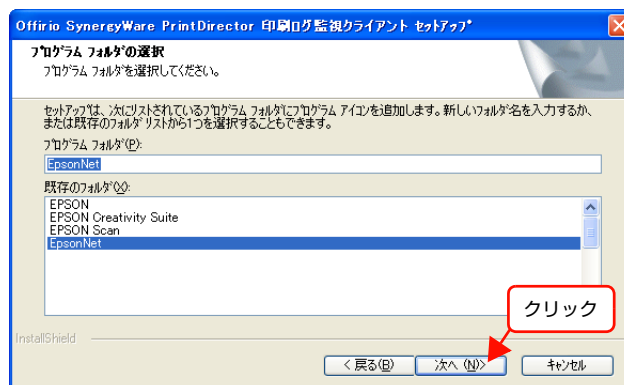
3 使用許諾契約書を確認して、[はい] をクリックします。



4 インストール先フォルダを確認して、[次へ] をクリックします。

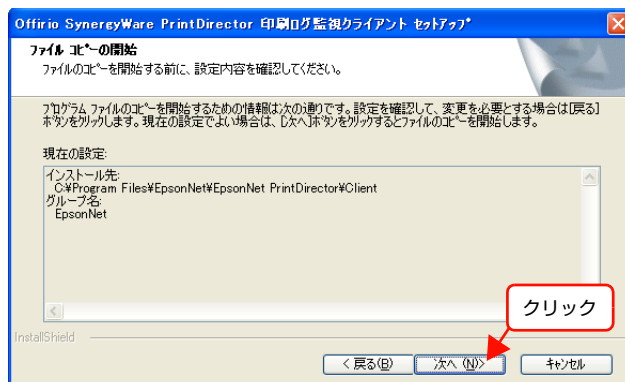


5 プログラムフォルダを確認して、[次へ] をクリックします。

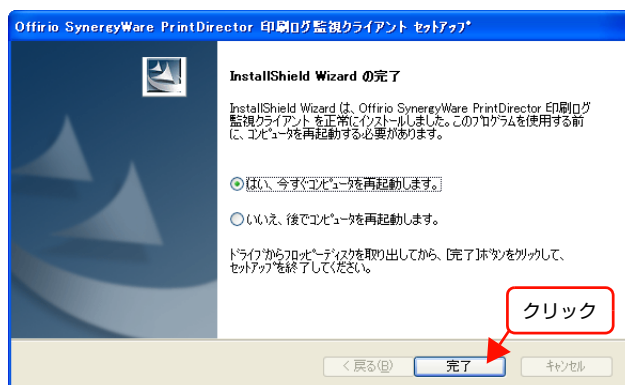


6 [次へ] をクリックします。

インストールが始まります。



7 [完了] をクリックして、コンピュータを再起動します。



以上で終了です。

クライアントの削除（アンインストール）

1 [コントロールパネル] の [プログラムの追加と削除]（または [アプリケーションの追加と削除]）を起動します。

2 [Offirio SynergyWare PrintDirector 印刷ログ監視クライアント] をクリックして [削除] をクリックします。

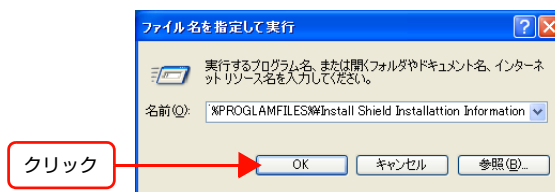


[Offirio SynergyWare PrintDirector 印刷ログ監視クライアント] が表示されない場合は、ユーザーの操作が許可されていません。以下の方法で削除してください。

① [ファイル名を指定して実行] 画面を開きます

② 以下のテキストを入力して、[OK] をクリックします。

%PROGRAMFILES%\InstallShield Installation Information\{8E264174-3582-4BF0-885F-5D9EC6F5432C}
"Setup.exe" %UI



3 [ファイル削除の確認] 画面で [OK] をクリックします。

4 [完了] をクリックします。

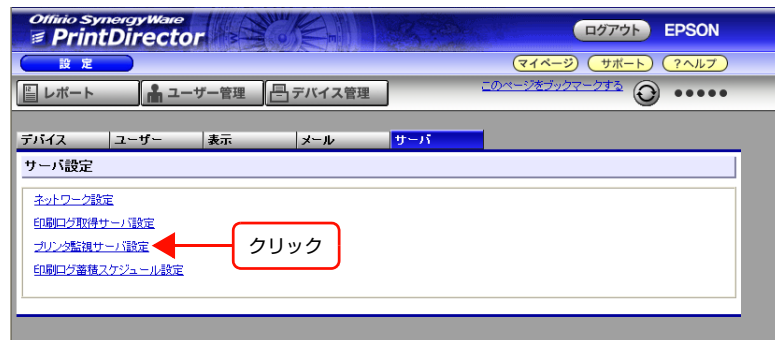
以上で終了です。

プリンタ監視サーバ設定

ジョブ MIB 対応プリンタを監視する **プリンタ監視サーバ** を登録します。ジョブ MIB 対応プリンタを使用しない場合、設定は不要です。

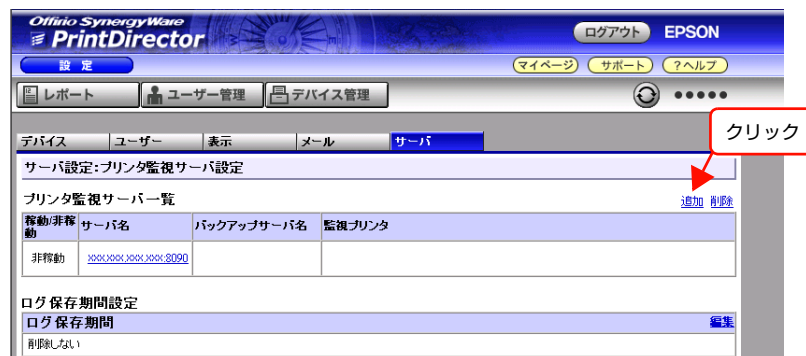
参考 「プリンタ監視サーバエラー監視設定」は、プリンタ監視サーバにエラーが発生してログが取得できない状態になったときに、メールで通知する機能です。
ログを確実に取得するために、「プリンタ監視サーバエラー監視設定」機能を設定されることをお勧めします。

1 「設定」 - 「サーバ」タブ - 「プリンタ監視サーバ設定」をクリックします。



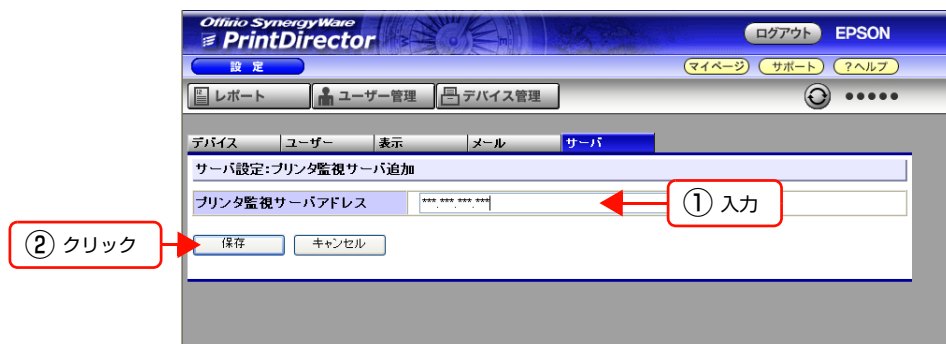
2 「追加」をクリックします。

本書の手順では、メインサーバと同じサーバを使用します。メインサーバの IP アドレスは、すべてインストール時に自動的に登録されます。

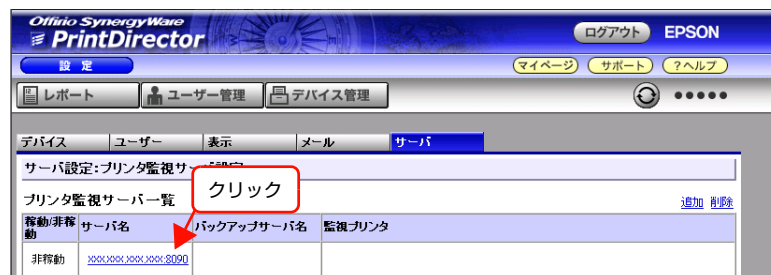


3 **プリンタ監視サーバ** をインストールした、補助サーバの IP アドレスを入力して、「保存」をクリックします。

補助サーバにコンポーネントをインストールした時に、メインサーバの IP アドレスを入力した場合は、自動登録されています。



- 4 [サーバ名] から追加したサーバの IP アドレスをクリックします。



- 5 [稼動 / 非稼動] で [稼動] を選択し、[監視しないプリンタ] からこのサーバで監視するデバイスの IP アドレスを選択して、[監視するプリンタ] 欄に移動します。最後に [保存] をクリックします。



- 参考** 登録したプリンタが、[監視しないプリンタ] の一覧に表示されない場合は、以下のことをご確認ください。
- すでに他のプリンタ監視サーバに登録していませんか？複数のプリンタ監視サーバに一台のプリンタを重複登録することはできません。
 - 最新のデータを確認します。プリンタの電源が入っていることを確認してください。
 - 登録したプリンタは、ジョブ MIB 対応プリンタですか？プリンタ監視サーバで監視できるのは、ジョブ MIB 対応プリンタのみです。
 - それでも表示されない場合は、プリンタの登録から再度設定してください。

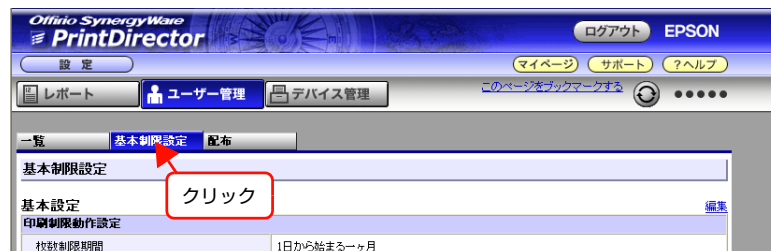
以上で終了です。

印刷制限設定

ユーザーまたはグループに対して、印刷枚数や印刷する時間帯に制限を設けることができます。

1

 ユーザー管理 - [基本制限設定] タブをクリックします。



2

各項目にある「編集」をクリックします。



3

動作や表示するメッセージなどを設定します。

各項目については、 ヘルプ をクリックすると表示されるオンラインヘルプを参照してください。



参考

- 基本設定の「枚数制限期間」、「枚数制限動作」、「印刷制限の対象となる印刷（ジョブ）」は、各グループ/ユーザーごとに印刷制限をするときにも共通で適用されます。
- 基本設定の「印刷枚数 / 機能制限情報」、「複数印刷の制限」、「印刷制限時間帯情報」はそれぞれ個別の設定となり、連動していません。「印刷枚数 / 機能制限情報」で制限を設定していなくても、「複数印刷の制限」、「印刷制限時間帯情報」で制限を設定できます。

4

【保存】をクリックします。

画面は入力例です。

印刷枚数制限時のメッセージ	印刷枚数が制限に達しました。
印刷制限の警告時期を超えた場合のメッセージ	印刷枚数が警告通知時期を超えました。
部数印刷制限時のメッセージ	部数印刷は禁止されています。
繰り返し印刷制限時のメッセージ	繰り返し印刷は禁止されています。

クリック

保存

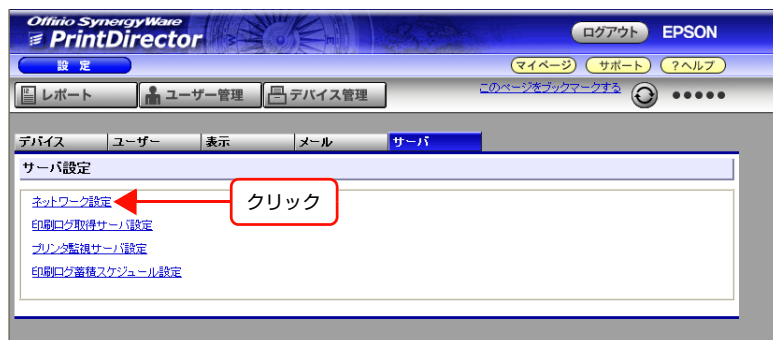
キャンセル

以上で終了です。

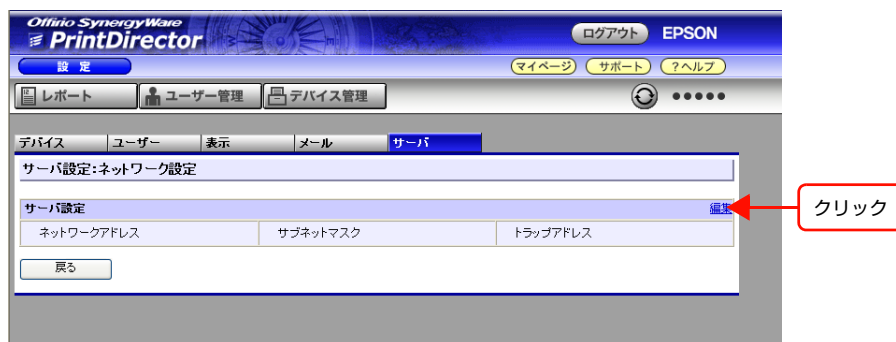
ネットワーク設定

PrintDirector 本体をインストールしたメインサーバが IP アドレスを 2 つ以上持っているなどで、デバイスのネットワーク通信経路を明確にする必要があるときに設定します。

- 1 【設定】 - 【サーバ】 タブ - 【ネットワーク設定】 をクリックします。



- 2 【編集】 をクリックします。



- 3 登録するデバイスの情報を入力または選択して、【保存】 をクリックします。

[ネットワークアドレス]、[サブネットマスク] を入力して、[トラップアドレス] からサーバの IP アドレスを選択します。



以上で終了です。

その他の設定内容について

本製品の各種設定項目についての詳細は、各画面の右上にある  をクリックすると表示されるオンラインヘルプを参照してください。

運用に必要な設定

定期通知処理設定

収集したログ情報をファイルに書き出す方法や、時間などを設定します。

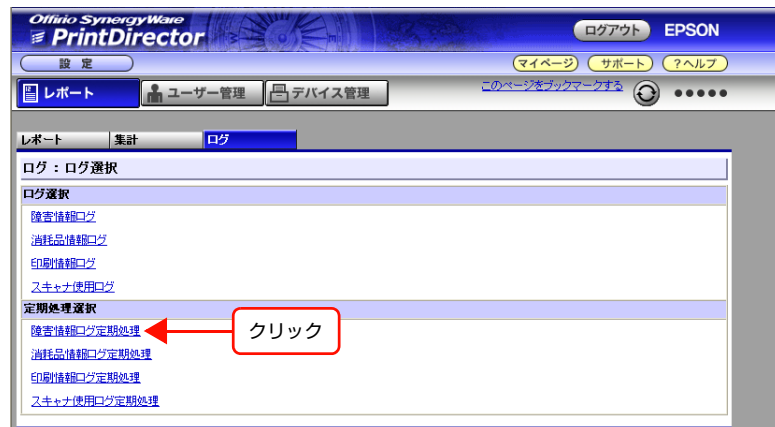
レポート - [ログ] タブをクリックして、定期処理選択項目を表示します。必要に応じて以下の定期処理の出力設定方法を設定します。

- 障害情報ログ定期処理
- 消耗品情報ログ定期処理
- 印刷情報ログ定期処理
- スキャナ使用ログ定期処理

どの定期処理も出力設定方法は同じです。ここでは「障害情報ログ定期処理」の設定方法を説明します。

1

レポート - [ログ] タブ - [障害情報ログ定期処理] をクリックします。



2

[編集] をクリックします。



3

必要に応じて出力ファイル設定、E-mail 送信設定を設定して、[保存] をクリックします。

各項目の詳細は、[?ヘルプ](#) をクリックすると表示されるオンラインヘルプを参照してください。

出力時間	3 時
出力間隔	☒ 毎週 月曜日 ☐ 毎月 1 日 ☐ 間隔日数指定(1-365) 日 (開始日: 2007 年 1 月 1 日)
前回実行日時	-
次回実行日時	-
E-mail送信設定	
E-mail送信	☐ する ☒ しない
件名	障害情報ログ定期処理
送信先アドレス(To)	xxxxxxxx@xxxxxxxx.xx
CC送信先アドレス(Cc)	xxxxxxxx@xxxxxxxx.xx
出力ファイルを添付	☐ する ☒ しない
送信後に出力ファイル削除	☐ する ☒ しない
② クリック 保存 キャンセル	

以上で終了です。

レポート機能設定

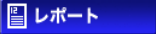
CSV または PDF 形式でレポートを作成（出力）します。 - [レポート] タブをクリックして、レポート選択項目を表示します。

作成（出力）できるレポートは以下になります。

- 月次印刷枚数レポート（デバイス）
- 月次印刷枚数レポート（ユーザー）
- 年次印刷枚数レポート（デバイス）
- 年次印刷枚数レポート（ユーザー）
- 月次障害情報レポート
- 月次消耗品履歴レポート
- 印刷制限レポート

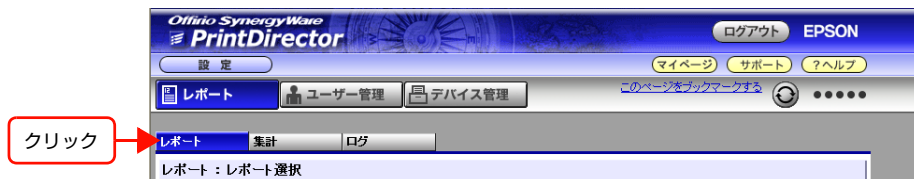
どのレポートも作成（出力）方法は同じです。ここでは [月次印刷枚数レポート（デバイス）] の作成（出力）方法を説明します。

1

 - [レポート] タブをクリックします。

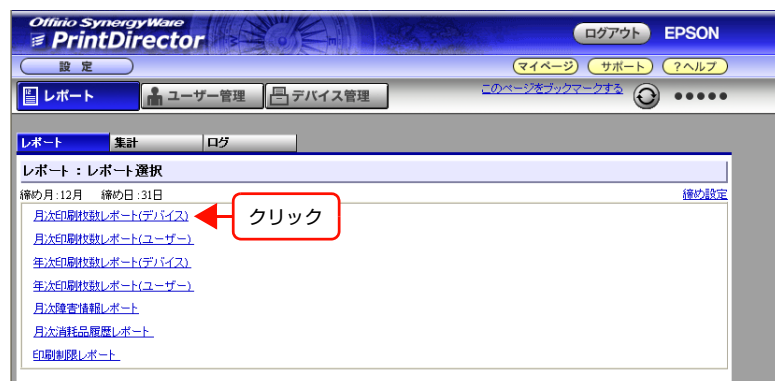
締め月、締め日を変更するときは、[締め設定] をクリックしてください。初期値は締め月が 12 月、締め日が 31 日になっています。

！重要 指定した締め日がない月は、その月の末日が締め日になります。
例：締め日を「31」にしたときの 6 月は、30 日になります。



2

[月次印刷枚数レポート（デバイス）] をクリックします。

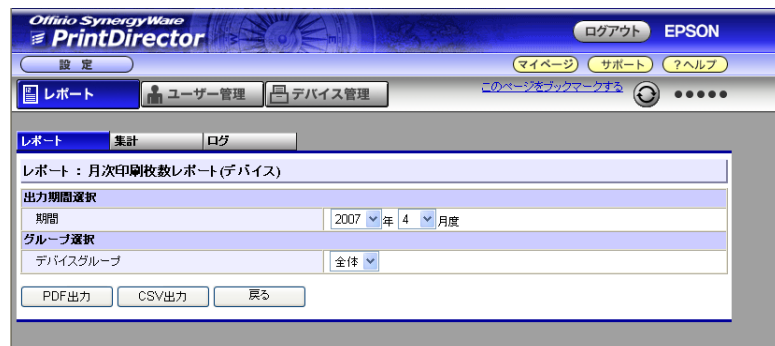


3

必要に応じて出力期間、グループを選択して、[PDF 出力] または [CSV 出力] をクリックします。

印刷制限レポートの出力期間は、[ユーザー管理](#) - [制限設定] タブ - 基本設定の [編集] の [枚数制限期間] で設定した期間が反映されます。

各項目の詳細は、[? ヘルプ](#) をクリックすると表示されるオンラインヘルプを参照してください。



以上で終了です。

印刷制限通知設定

印刷制限に達したときの通知方法やメッセージ内容を設定します。

- 参考**
- E-mail による通知機能を使用するときは、SMTP サーバの IP アドレス設定が必要です。[設定] - [メール] タブ - [編集] で設定します。
 - Windows Messenger Service による通知機能を使用するときは、クライアントに Messenger サービス (OS 標準でインストールされます) がインストールされている必要があります。なお、Windows Vista は Windows Messenger Service に対応していません。

1

ユーザー管理 - [基本制限設定] タブ - 警告通知の [編集] をクリックします。

The screenshot shows the 'Basic Restrictions' tab in the Epson PrintDirector software. The 'Warning Notification' section is expanded, showing settings for 'Windows Messenger Service' and 'E-mail'. The 'Edit' button for the 'Warning Notification' section is circled in red, with a red arrow pointing to it and the label 'クリック'.

基本制限設定	
基本設定	
印刷制限動作設定	
枚数制限期間	1日から始まる一ヶ月
枚数制限動作	上限を超えた次の印刷(ジョブ)から制限する
印刷制限の対象となる印刷(ジョブ)	許可する
印刷枚数/権定制限情報	
全印刷枚数(カラー+モノクロ)	制限なし
カラー印刷枚数	全印刷枚数の制限値まで
モノクロ印刷枚数	全印刷枚数の制限値まで
印刷枚数の繰り越し	拒否する
警告通知	
Windows Messenger Service	
通知設定	通知しない
E-mail	
通知設定	通知しない
システム管理ユーザーに送信	送信しない
管理ユーザーに送信	送信しない
送信先アドレス(To)	
CC送信先アドレス(Cc)	
件名	Warning from EpsonNet PrintDirector
メッセージ	
印刷制限の警告通知時期	印刷枚数上限値の 80% を印刷した時から警告を通知する
時間帯制限時のメッセージ	
印刷枚数制限時のメッセージ	
印刷制限の警告時期を越えた場合のメッセージ	
部数印刷制限時のメッセージ	
繰り越し印刷制限時のメッセージ	

2

必要に応じて Windows Messenger Service などの各項目を設定して、[保存] をクリックします。

各項目の詳細は、**? ヘルプ** をクリックすると表示されるオンラインヘルプを参照してください。

The screenshot shows the 'Warning Notification' settings dialog box. The 'Message' section is expanded, showing settings for '印刷制限の警告通知時期' (Warning notification period for printing restrictions) and other message templates. The 'Save' button is circled in red, with a red arrow pointing to it and the label '② クリック'.

Warning from EpsonNet PrintDirector	
印刷制限の警告通知時期	印刷枚数上限値の 80% を印刷した時から警告を通知する
時間帯制限時のメッセージ	
印刷枚数制限時のメッセージ	
印刷制限の警告時期を越えた場合のメッセージ	
部数印刷制限時のメッセージ	
繰り越し印刷制限時のメッセージ	

② クリック

以上で終了です。

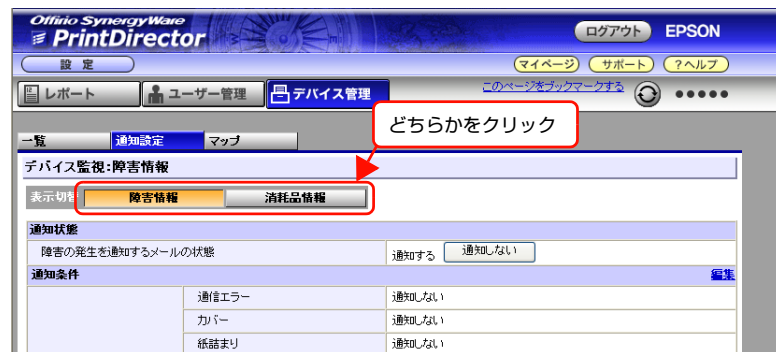
通知設定

デバイスの障害情報、消耗品情報をメールで通知する / しないを設定します。

- 1  デバイス管理 - 「通知設定」タブをクリックします。



- 2 「障害情報」または「消耗品情報」をクリックします。



- 3 通知状態で「通知する」または「通知しない」をクリックします。
初期値は「通知しない」です。



- 4 各項目の「編集」をクリックして、通知条件や通知先を設定します。



5

各項目を設定後、[保存] をクリックします。

各項目の詳細は、[?ヘルプ](#) をクリックすると表示されるオンラインヘルプを参照してください。

The screenshot shows the 'PrintDirector' interface with the 'デバイス監視' (Device Monitoring) tab selected. The sub-tab is '通知設定' (Notification Settings). The form is titled 'デバイス監視:消耗品情報:通知設定' (Device Monitoring: Consumables Information: Notification Settings). It contains several fields for configuring notifications, including '件名' (Subject), 'システム管理ユーザーに送信' (Send to System Management User), '管理ユーザーに送信' (Send to Admin User), '送信先アドレス(To)' (To Address), 'CC送信先アドレス(Cc)' (Cc Address), and '通知本文' (Notification Body). The '通知本文' field contains the text '消耗品が通知の残量レベルに達しました。' (Consumables have reached the notification level). At the bottom of the form, there are two buttons: '保存' (Save) and 'キャンセル' (Cancel). A red box with the text 'クリック' (Click) and an arrow points to the '保存' button.

以上で終了です。

ログ収集

デバイスの障害情報や消耗品情報のログを表示、または CSV 形式で出力します。

表示、または CSV 形式で出力できるログは以下になります。

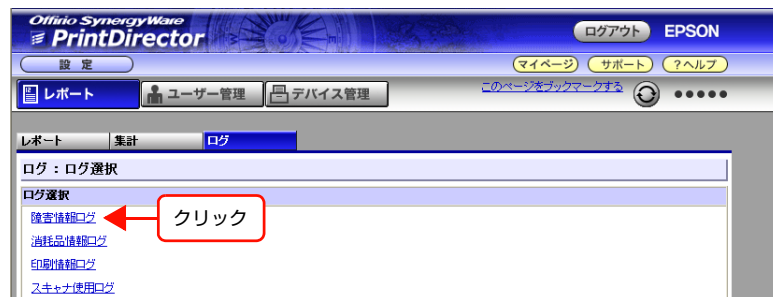
- 障害情報ログ
- 消耗品情報ログ
- 印刷情報ログ
- スキャナ使用ログ

どのログも表示、または出力方法は同じです。ここでは「障害情報ログ」の設定方法を説明します。

1

レポート

- [ログ] タブ - [障害情報ログ] をクリックします。



2

ログを収集する期間とデバイスグループを選択します。

「印刷情報ログ」、[スキャナ使用ログ] は表示項目を変更できます。変更するには「表示項目設定」をクリックします。[表示項目設定] や各項目の詳細は、[?ヘルプ](#) をクリックすると表示されるオンラインヘルプを参照してください。



3

必要に応じて、[表示] または [CSV 出力] をクリックします。

どちらかをクリック



以上で終了です。

困ったときは

付録に「問い合わせ事前確認一覧」を用意しています。

問題解決ができないときなどに印刷していただき、お問い合わせ時にご利用ください。

→ 78 ページ「問い合わせ事前確認一覧」

印刷ログに関するトラブル

印刷ログが取得できない



各コンポーネント（**PrintDirector 本体**、**プリンタ監視サーバ**、**印刷ログ取得サーバ**）をインストールしたコンピュータを帰宅時に電源を切る、出社時に電源を入れるというように、一旦停止させる運用をしていませんか？
各コンポーネントが停止したままでは、印刷ログを取得できません。各コンポーネントをインストールしたコンピュータが、起動していることを確認してください。



各コンポーネント（**PrintDirector 本体**、**プリンタ監視サーバ**、**印刷ログ取得サーバ**）をインストールしたコンピュータがスタンバイ状態になっていませんか？
各コンポーネントをインストールしたコンピュータは、スタンバイ状態にしないでください。

「データが見つかりません」エラーが表示される



プロキシサーバを使用していませんか？
プロキシサーバを使用しない設定にして、ログの出力を実行してみてください。



印刷ログ取得サーバの登録にサーバ名を使用していませんか？
サーバ名を使用している場合は、名前解決が行われているかネットワーク管理者にご確認ください。



ログが取得されていますか？
以下のフォルダにログファイルが存在するか確認してください。
C:¥ProgramFiles¥EpsonNet¥EpsonNetLogBrowser¥Monsvr¥Data
C:¥ProgramFiles¥EpsonNet¥EpsonNetLogBrowser¥Colsvr¥Data
上記フォルダにログファイルが存在しない場合、ログの収集がされていません。[設定] - [サーバ] タブの [印刷ログ取得サーバ設定] および [プリンタ監視サーバ設定] の設定を見直してください。

ユーザー名が「unknown」になる



Macintosh から印刷を実行していませんか？
ジョブ MIB 対応プリンタと**プリンタ監視サーバ**の組み合わせで取得したログに、Macintosh から実行した印刷のログが含まれている場合、ユーザー名が unknown になります。



ステータスシートを印刷していませんか？
ステータスシートを印刷したときは、ユーザー名が「unknown」になります。



PS ドライバを使って印刷していませんか？
PS ドライバを使うと「unknown」になることがあります。

エクスポートするとログの先頭にある「0」が消える



Microsoft Excel のインストールされた環境で、エクスポートを実行していませんか？

Microsoft Excel のインストールされた環境の場合「01234567」などのログは数値データと見なされ、自動的に「1234567」とエクスポートされます。

Microsoft Excel を介せずにエクスポートする場合は、ダウンロード画面で表示されるファイルのリンクを右クリックして、ファイルを保存してください。

集計に関するトラブル

一部のプリンタのログが集計できない



プリンタ監視サーバと印刷ログ取得サーバを併用していませんか？

プリンタ監視サーバと印刷ログ取得サーバを併用している場合、プリンタ監視サーバでログが集計されます。

印刷ログ取得サーバでログを取得するには、プリンタ監視サーバを [設定] - [サーバ] - [プリンタ監視サーバ] の稼働中のプリンタ監視サーバから削除してください。

印刷ログ取得サーバ併用時、集計したログ情報がおかしい



電源が切れているプリンタに印刷をして、コンピュータのスプーラにジョブが残っていませんか？

スプーラにジョブを残したままコンピュータを再起動すると、再起動時にジョブを再印刷（再試行）するため、ログを二重に取得することがあります。

スプーラを確認して、不要なジョブは削除してください。

印刷制限機能に関するトラブル

警告メールが送信されない



SMTP サーバの IP アドレスを設定していますか？

メール送信機能を使用するためには、SMTP サーバの IP アドレスを設定する必要があります。[設定] - [サーバ] - [SMTP サーバ] メニューで設定してください。

警告メッセージが表示されない



Windows Vista を使っていませんか？

Windows Vista は Messenger サービスに対応していません。



Windows 2000/XP に標準インストールされている、Messenger サービスの設定がされていますか？

印刷制限機能の Windows Messenger Service 機能は、Windows 2000/XP に標準インストールされている、Messenger サービス機能を使用します。Messenger サービスが利用できる状態になっているかご確認ください。

Messenger サービスをクライアントで設定しているときはクライアントのコンピュータの設定を、サーバで設定しているときはサーバのコンピュータの設定を確認してください。

印刷制限されない



ログが取得されていますか？

以下のフォルダにログファイルが存在するか確認してください。

C:¥ProgramFiles¥EpsonNet¥EpsonNetLogBrowser¥Monsvr¥Data

C:¥ProgramFiles¥EpsonNet¥EpsonNetLogBrowser¥Colsvr¥Data

上記フォルダにログファイルが存在しない場合、ログの収集がされていません。[設定] - [サーバ] タブの [印刷ログ取得サーバ設定] および [プリンタ監視サーバ設定] の設定を見直してください。



【印刷制限の対象となる印刷（ジョブ）】の設定で、【拒否する】のチェックが外れていませんか？

チェックが付いていないと印刷制限されません。

プリンタ監視サーバ併用時、モノクロ印刷の枚数制限が動作しない



ページプリンタのプリンタドライバの設定で、【カラー/モノクロの自動判別を行う】にチェックが付いていませんか？

【カラー/モノクロの自動判別を行う】にチェックが付いている場合に、カラー指定で印刷すると、データによっては、モノクロ印刷としてログが取得されます。この場合は、モノクロ印刷枚数上限値と併せて、全印刷枚数を設定してください。

印刷ログ取得サーバ併用時、印刷可能枚数がおかしい



電源が切れているプリンタに印刷をして、コンピュータのスプーラにジョブが残っていませんか？

印刷されずにスプーラに残ったジョブもカウントしてしまいます。

プリンタの電源が入っていることを確認してから、印刷を実行するようにしてください。

複数印刷制限されない



印刷を実行したプリンタの搭載メモリと対象機種を確認してください。

部数印刷を制限する場合は、印刷を実行するプリンタに 128MB 以上のメモリが搭載されており、ESC/PageS PrintingSystem 以外の機種である必要があります（対象機種については、エプソンのホームページ（<http://www.epson.jp/products/offirio/sw/printing/index.htm>）でご確認ください）。



印刷ログ監視クライアントをインストールしたコンピュータのハードディスク空容量を確認してください。

ハードディスクの空容量が少ないと、印刷ドキュメントのファイルサイズによっては、ハードディスクがいっぱいとなり部数印刷制限が機能しない場合があります。

部数印刷制限されない



対象機種とプリンタの搭載メモリ、設定内容を確認してください。

部数印刷制限が動作する機種は限定されます。

対象機種については、エプソンのホームページ（<http://www.epson.jp/products/offirio/sw/printing/index.htm>）でご確認ください（ESC/PageS Printing System 機は対象外）。

また、以下のすべてに該当する場合のみ機能します。

- ・搭載メモリが 128MB 以上
- ・スプールデータ形式が RAW
- ・プリンタプロパティの [詳細設定] タブのスプール設定が、[プリンタに直接印刷データを送る] 以外の設定
- ・プリンタ印刷設定の [環境設定] タブ - ドライバ [拡張設定] の [アプリケーションの部単位印刷を優先] にチェックが付いている



プリンタ印刷設定の「アプリケーションの部単位印刷を優先」にチェックが付いていますか？

プリンタ印刷設定の「環境設定」タブ - ドライバ「拡張設定」の「アプリケーションの部単位印刷を優先」にチェックを付けていない場合、アプリケーションで部単位印刷にチェックを付けて印刷すると部数印刷制限されません。

* 部数印刷制限の対象機種は、エプソンのホームページ (<http://www.epson.jp/products/offirio/sw/printing/index.htm>) でご確認ください。

印刷費計算機能に関するトラブル

「デフォルト印刷費単価を設定してください」エラーが表示される



デフォルト印刷費単価を設定しましたか？

印刷費計算機能を使用するには、「レポート」 - 「集計」 - 「印刷単価設定」から、デフォルト印刷費単価を必ず設定してください。

その他のトラブル

本製品が正常に動作しない



Windows Server 2003 SP1 環境でお使いの場合、ファイアウォール設定が有効になっていませんか？

Windows Server 2003 SP1 のファイアウォール機能を有効にしていると、クライアントコンピュータからアクセスすることはできません。

IP アドレスとポート (8090) を登録することで回避できます。設定の方法は、エプソンのホームページをご覧ください。
<http://www.epson.jp/>

補助サーバを登録できない



PrintDirector 本体（メインサーバ）に Windows Server 2003 SP1 を使用していませんか？

Windows Server 2003 SP1 のファイアウォール機能を有効にしていると、補助サーバを登録することはできません。

IP アドレスとポート (8090) を登録することで回避できます。設定の方法は、エプソンのホームページをご覧ください。
<http://www.epson.jp>

デバイス検索で検索されない



異なるネットワーク（セグメント）を検索していませんか？

途中のルータで、ブロードキャストが通らないようになっているときは、検索されないことがあります。

Messenger サービスが使えない



Windows Vista を使っていませんか？

Windows Vista は Messenger サービスに対応していません。

コンピュータ起動時に印刷制限のメッセージやメールが通知される

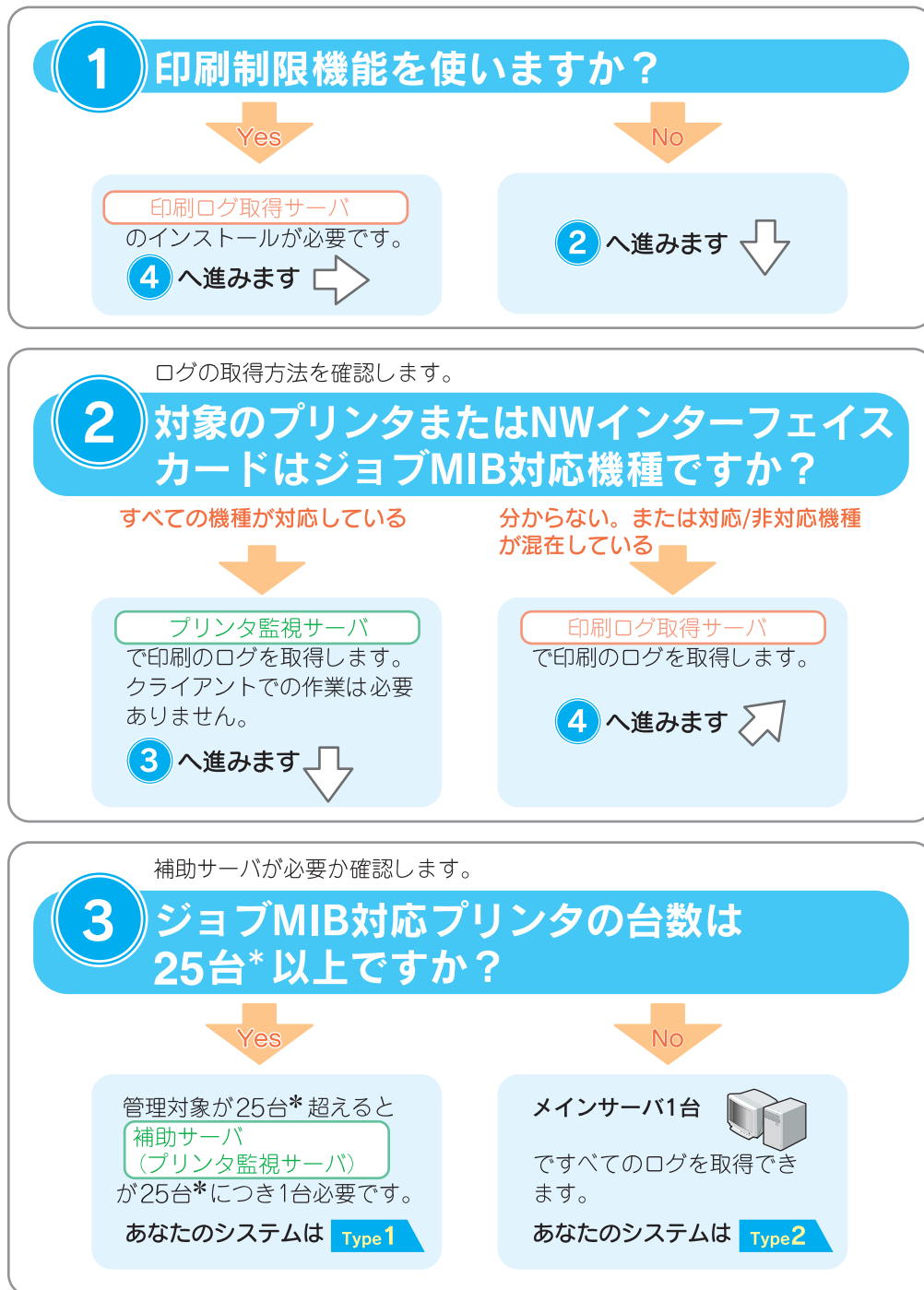


「ファイルに出力」で印刷して、印刷ジョブを残す設定（スプーラに印刷済みで残っている状態）にしていますか？

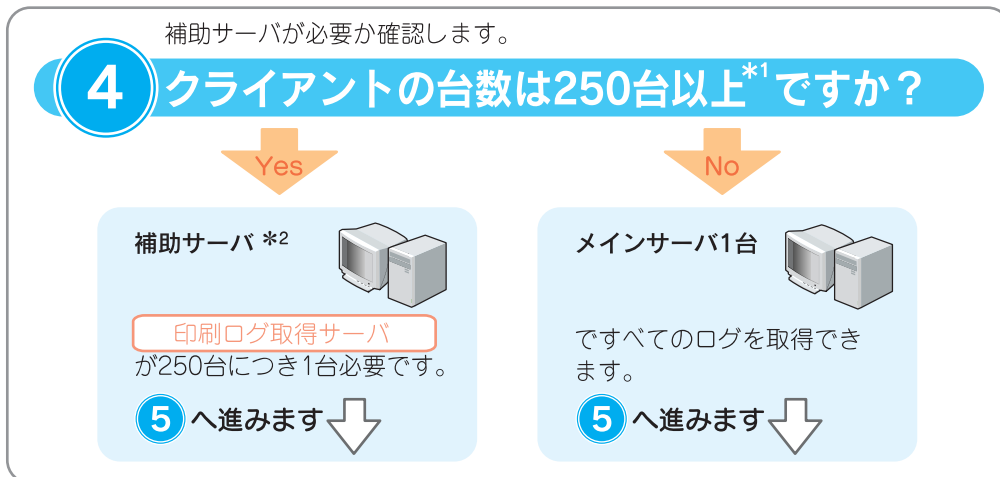
上記設定をしていて、印刷制限枚数に達しているときに通知されます。
印刷ジョブを残す設定を変更してください。

付録

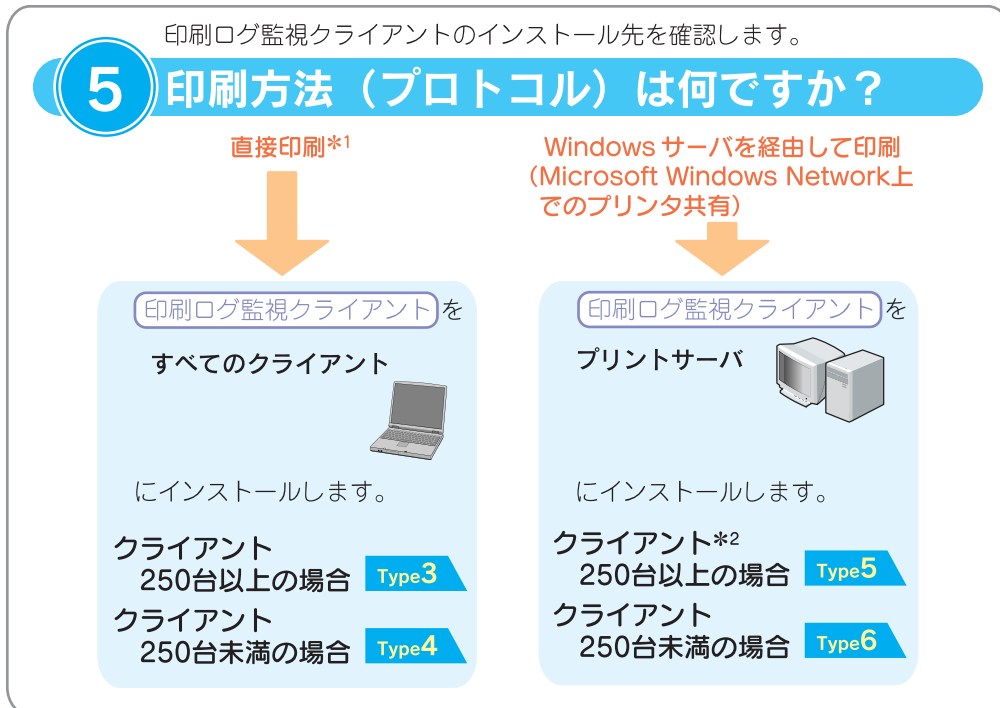
システム構成確認チャート



* オプションのネットワークインターフェイスカードを接続したプリンタを使う場合は25台につき1台
ネットワークインターフェイス内蔵のプリンタを使う場合は100台につき1台

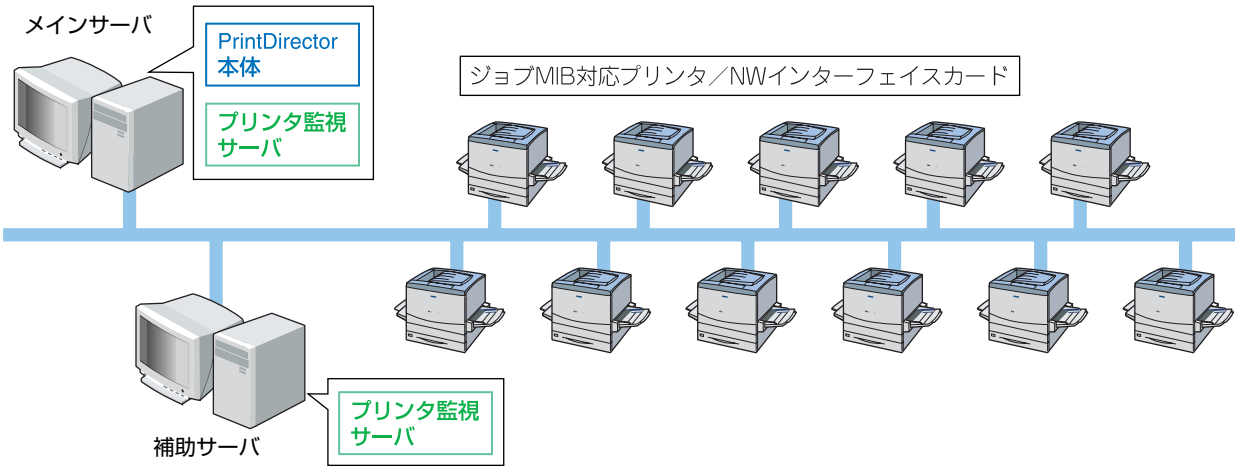


- * 1 印刷のタイミングにより、印刷ログ取得サーバへかかる負担が変わるため、250 台を目安にしてください。
- * 2 すでにプリンタ監視サーバ用の補助サーバを使用しているときは、その補助サーバを併用できます。



- * 1 OS 標準 LPR での印刷 /MS Network 印刷 /EpsonNetPrint 印刷を使用しての印刷
- * 2 プリントサーバも含む

Type 1 ジョブMIB対応プリンタのみを25台* 以上使用している場合



- * 情報取得の間隔やネットワーク内蔵プリンタの利用により、補助サーバの構成は以下のようになります。
- オプションのネットワークインターフェイスカードを接続したプリンタを使う場合は 25 台につき 1 台
 - ネットワークインターフェイス内蔵のプリンタを使う場合は 100 台につき 1 台

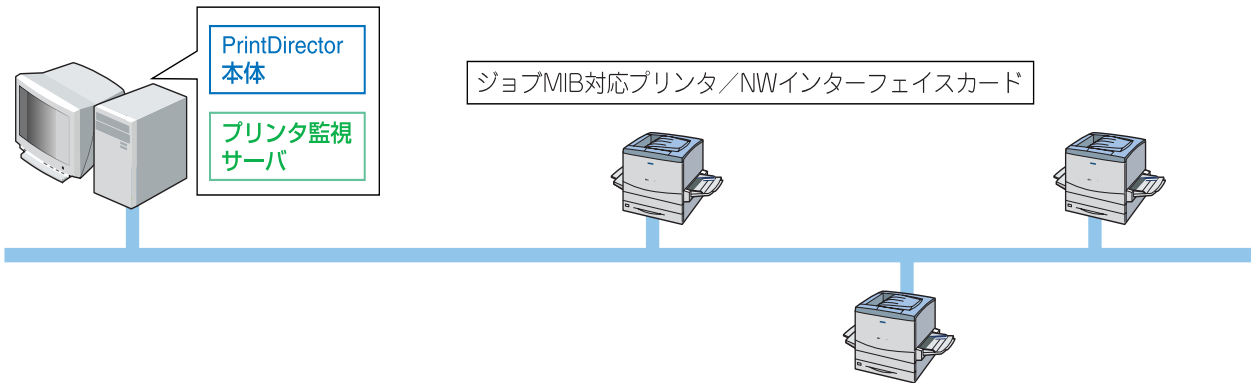
【PrintDirector 本体】と【プリンタ監視サーバ】をインストールするメインサーバ

メインサーバ 部門：	IP アドレス		コンピュータ名	
	管理対象プリンタ			

【プリンタ監視サーバ】をインストールする補助サーバ

補助サーバ 1	IP アドレス		コンピュータ名	
	管理対象プリンタ			
補助サーバ 2	IP アドレス		コンピュータ名	
	管理対象プリンタ			
補助サーバ 3	IP アドレス		コンピュータ名	
	管理対象プリンタ			

Type2 ジョブMIB対応プリンタ/NWインターフェイスカード25台*未満の場合



- * メインサーバ 1 台だけで運用できる構成は以下のようになります。
- オプションのネットワークインターフェイスカードを接続したプリンタを使う場合は、プリンタが 25 台未満
 - ネットワークインターフェイス内蔵のプリンタを使う場合は、プリンタが 100 台未満

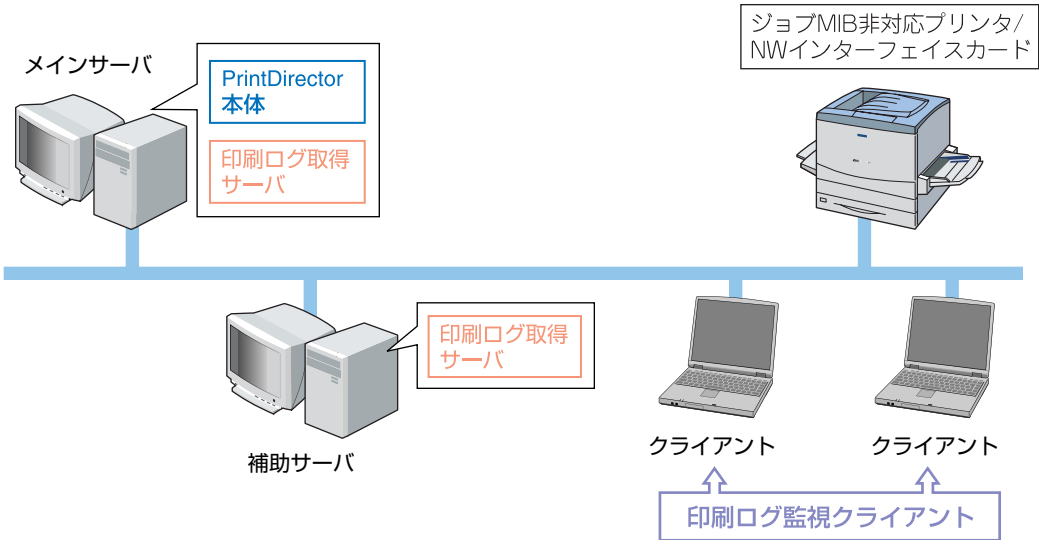
【PrintDirector 本体】と【プリンタ監視サーバ】をインストールするメインサーバ

メインサーバ	IP アドレス		コンピュータ名	
部門：	管理対象プリンタ			

Type3

条件

クライアント 250 台以上 ジョブ MIB 非対応プリンタ混在
印刷方法：直接印刷（プリントサーバ非経由）



【PrintDirector 本体】と【印刷ログ取得サーバ】をインストールするメインサーバ

メインサーバ	IP アドレス		コンピュータ名	
部門：	管理対象ユーザ			

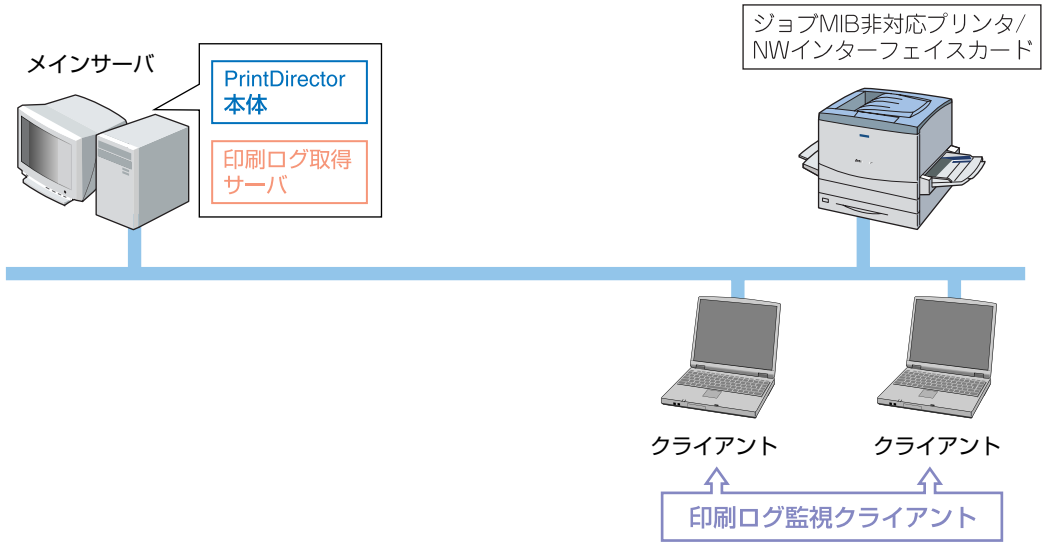
【印刷ログ取得サーバ】をインストールする補助サーバ

補助サーバ 1	IP アドレス		コンピュータ名	
	管理対象ユーザ			
補助サーバ 2	IP アドレス		コンピュータ名	
	管理対象ユーザ			
補助サーバ 3	IP アドレス		コンピュータ名	
	管理対象ユーザ			

Type4

条件

クライアント 250 台未満 ジョブ MIB 非対応プリンタ混在
印刷方法：直接印刷（プリントサーバ非経由）



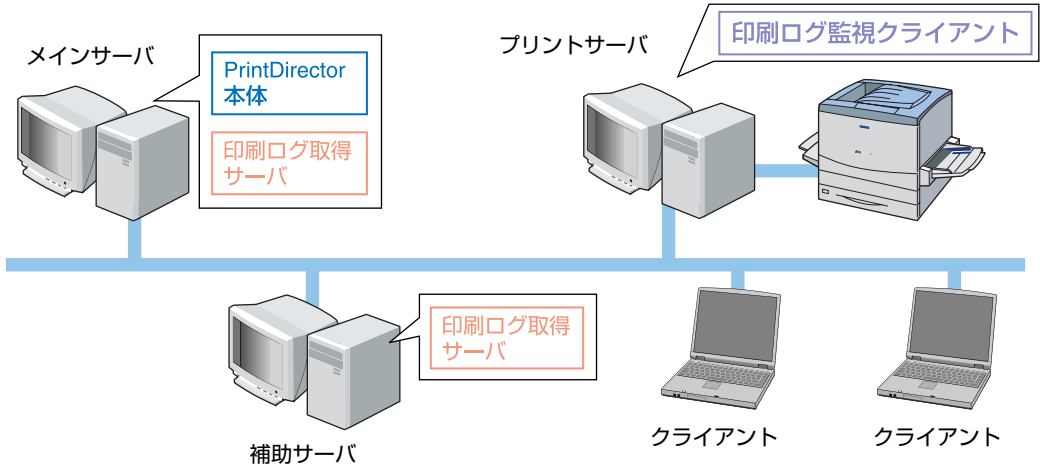
【PrintDirector 本体】と【印刷ログ取得サーバ】をインストールするメインサーバ

メインサーバ	IP アドレス		コンピュータ名	
部門：	管理対象ユーザ			

Type5

条件

クライアント 250 台以上 ジョブ MIB 非対応 プリント混在
印刷プロトコル：Microsoft プリント共有（プリントサーバ使用）



【PrintDirector 本体】 と 【印刷ログ取得サーバ】 をインストールするメインサーバ

メインサーバ 部門：	IP アドレス		コンピュータ名	
	管理対象ユーザ			

【印刷ログ取得サーバ】 をインストールする補助サーバ

補助サーバ 1	IP アドレス		コンピュータ名	
	管理対象ユーザ			
補助サーバ 2	IP アドレス		コンピュータ名	
	管理対象ユーザ			
補助サーバ 3	IP アドレス		コンピュータ名	
	管理対象ユーザ			

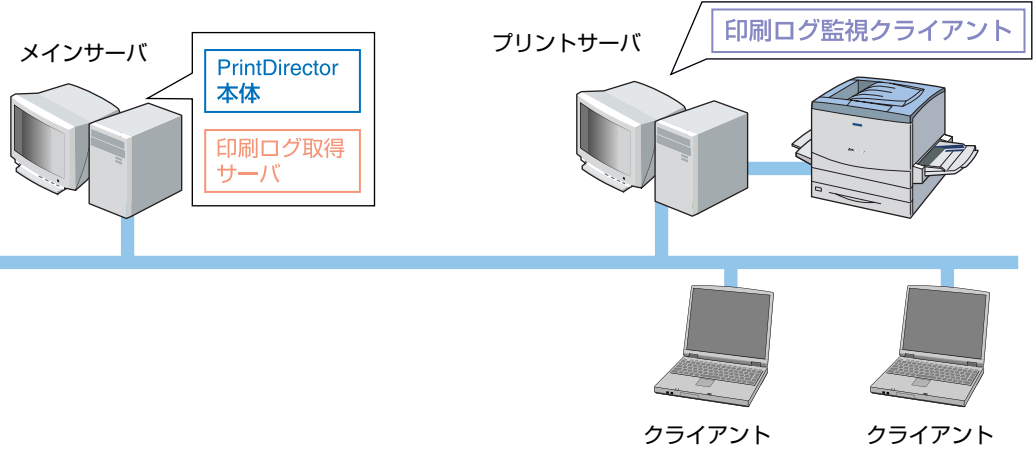
【印刷ログ監視クライアント】 をインストールするプリントサーバ

プリントサーバ	IP アドレス		コンピュータ名	
---------	---------	--	---------	--

Type6

条件

クライアント 250台未満 ジョブMIB非対応プリンタ混在
印刷プロトコル：Microsoftプリンタ共有（プリントサーバ使用）



【PrintDirector 本体】 と 【印刷ログ取得サーバ】 をインストールするメインサーバ

メインサーバ	IP アドレス		コンピュータ名	
部門：	管理対象ユーザー			

【印刷ログ監視クライアント】 をインストールするプリントサーバ

プリントサーバ	IP アドレス		コンピュータ名	
---------	---------	--	---------	--

EpsonNet LogBrowser V2/WebManager から移行

データの移行を始める前に、本製品と EpsonNet LogBrowser V2/WebManager とでは、グループの考え方が異なります。グループの考え方や移行の仕方を理解してから始めてください。また移行の流れの詳細を参考に、お使いの環境にあった手順で進めてください。

移行できるバージョンは以下になります。

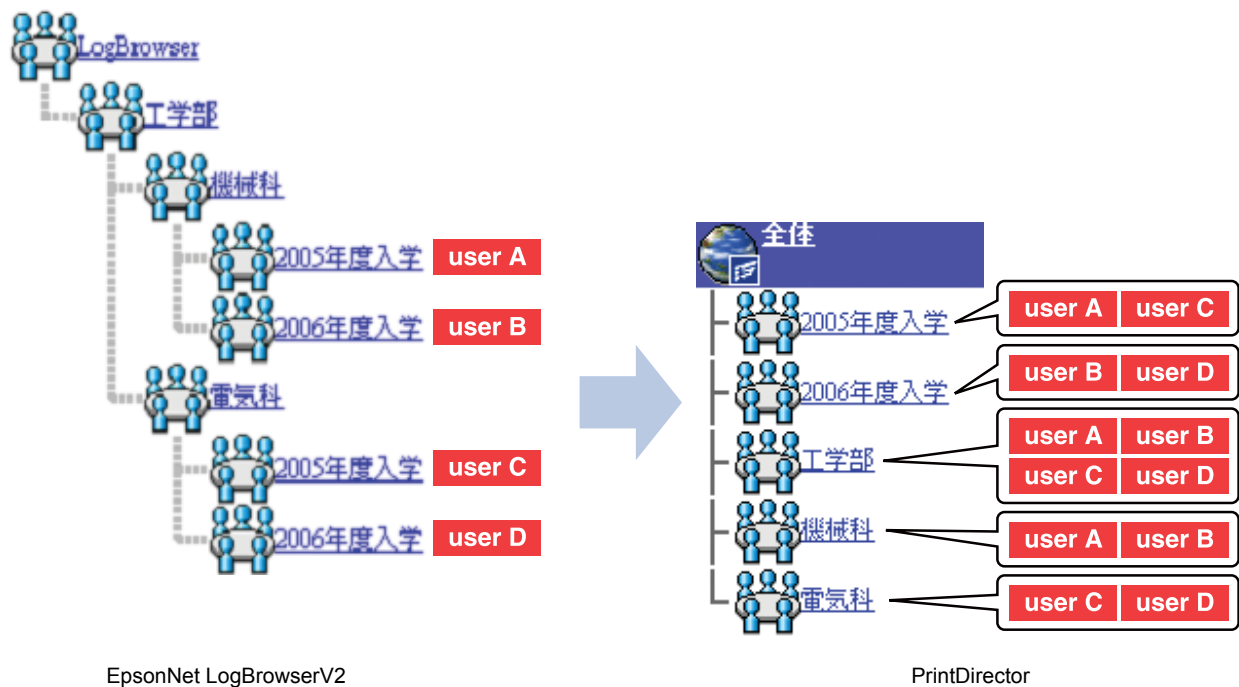
- EpsonNet LogBrowser V2 2.6c 以降
- EpsonNet WebManager 3.1g 以降

グループの考え方

EpsonNet LogBrowser V2/WebManager の各ユーザーまたはデバイスは、ツリー構造下のどれか1つのグループにのみ登録が可能でしたが、本製品では目的ごとにグループを作成できるため、各ユーザーまたはデバイスは、複数のグループに登録することが可能です。

例えば、EpsonNet LogBrowser V2 使用時に下記の左側のイラストのようなグループがあったとします。

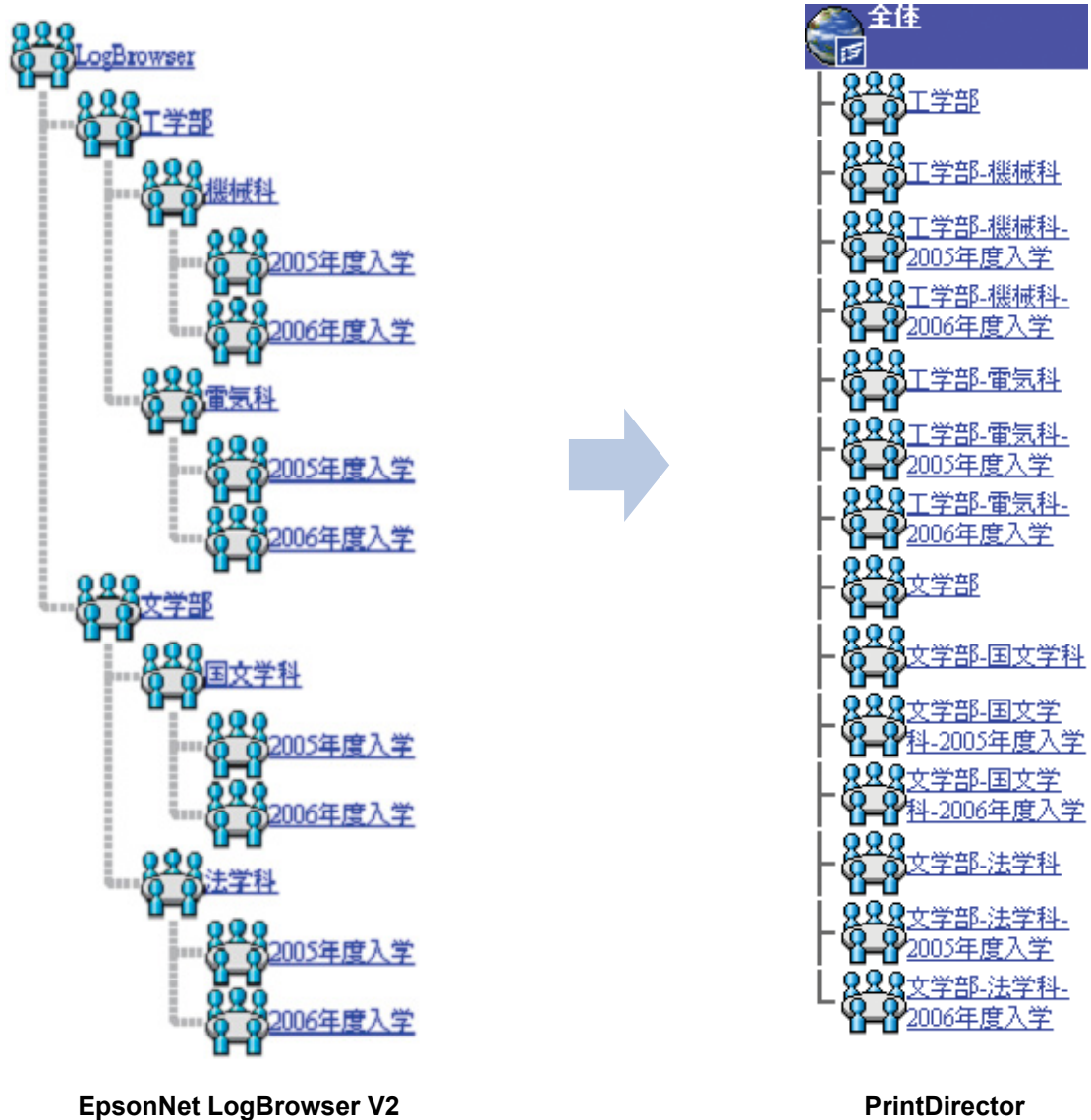
そこで 2005 年度入学者のみを集計したり、印刷制限をしたりするには、各学部の 2005 年度入学グループを設定する必要がありますが、本製品では 2005 年度入学者だけをまとめたグループ、工学部在籍者だけをまとめたグループを作成できるため、集計や、印刷制限の設定がしやすいグループを作成できます。また、ユーザ管理のグループのビューとしても使用できます。



グループ移行の仕方

EpsonNet LogBrowser V2/WebManager のツリー構造で作成されていたグループは、本製品では並列で作成されます。本製品に移行後は、各グループ名を「-」でつないで表示します。グループ名が 20 文字を超えると、最初のグループ名と最後のグループ名の間を「~」でつないで表示します。

移行は必ず下図のようになりますので、下図以外にしたいときは、新規グループを作成してください。



なお印刷制限は、各ユーザー、グループごとに引継がれます。
 ログ収集設定や、アラート通知情報は引継がれませんので、移行後設定し直してください。
 登録できるユーザー数、デバイス数は以下になります。

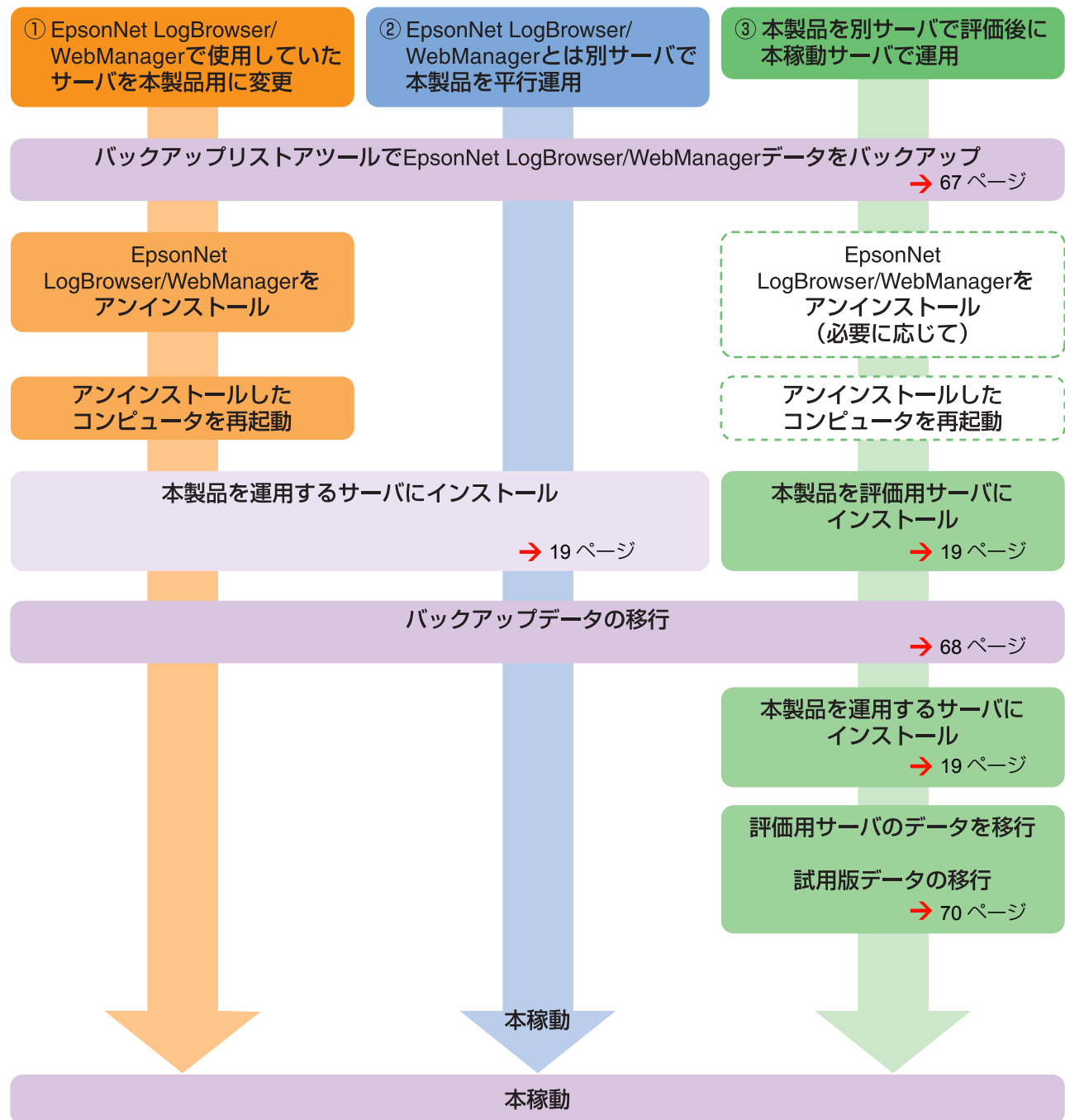
- ユーザー数：20,000 名 / グループ
- デバイス数：100 台 / グループ

移行の流れ

EpsonNet LogBrowser V2/WebManager から本製品にデータを移行するには、以下の環境が考えられます。お使いの環境にあった移行方法を確認してから、バックアップを始めてください。

また移行できるバージョンは以下になります。

- EpsonNet LogBrowser V2 2.6c
- EpsonNet WebManager 3.1g



参考

- EpsonNet LogBrowser V2/WebManager をそれぞれ違うサーバで運用していたときは、各サーバからデータをバックアップして、本稼動用サーバに移行してください。
- EpsonNet LogBrowser V2/WebManager を Windows NT4.0 で使用していたときで①で移行するときは、本製品を運用するサーバにインストールする前にサーバの OS を変更してください。

EpsonNet LogBrowser V2/WebManager データのバックアップ

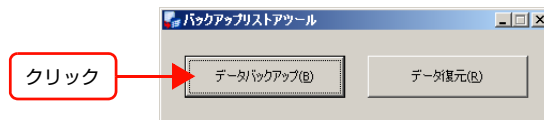
本製品に付属の「バックアップリストツール」を使用して、データをバックアップします。

1 本製品に付属の CD-ROM を EpsonNet LogBrowser V2/WebManager を運用していたコンピュータにセットします。

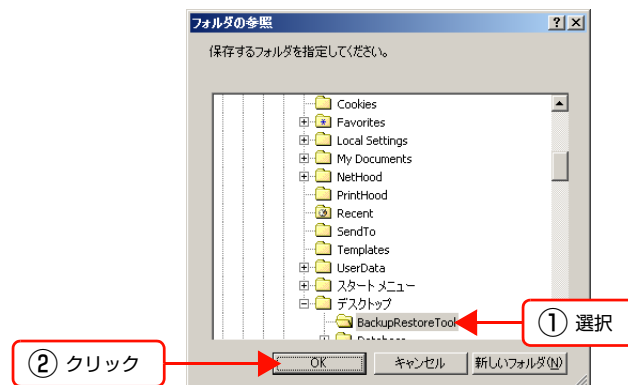
2 [EpsonNet LogBrowser V2/WebManager から移行] の右側のボタンをクリックします。

3 Step1 の右側のボタンをクリックします。

4 [データバックアップ] をクリックします。



5 バックアップファイルの保存先を選択して、[OK] をクリックします。
ログ、ユーザー、デバイスの情報がバックアップされます。



6 「データバックアップ処理が終了しました。」画面が表示されたら、[OK] をクリックします。



！重要 EpsonNet LogBrowser V2/WebManager で使用していた登録用の CSV ファイルは本製品では使用できません。

以上で終了です。

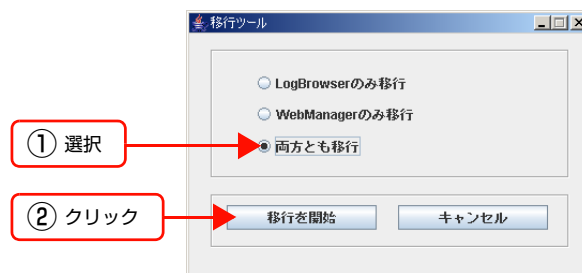
バックアップデータの移行

まずは、バックアップしたデータを移行したいコンピュータ（サーバ）にコピーしてください。そのあと本製品にデータを取り込みます。

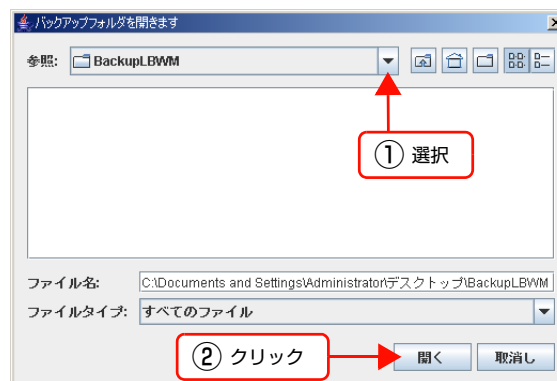
以下では、本製品にデータを取り込む手順の詳細を説明します。

！重要 ツールの操作には必ずマウスを使用してください。キーボードで操作すると意図しない動作をすることがあります。

- 1 本製品に付属の CD-ROM を、PrintDirector 本体をインストールしたコンピュータ（本稼動用のコンピュータ）にセットします。
- 2 [EpsonNet LogBrowser V2/WebManager から移行] の右側のボタンをクリックします。
- 3 Step3 の右側のボタンをクリックします。
- 4 必要な項目を選択して、[移行を開始] をクリックします。



- 5 バックアップしたファイルの保存先を選択して、[開く] をクリックします。



6 「移行が成功しました。」画面が表示されたら、[了解] をクリックします。

移行するデータ量によっては、本画面が表示されるまでに時間がかかることがあります。



7 コンピュータを再起動します。

8 本製品にログインして、設定が移行されていることを確認します。

- 印刷制限設定項目の確認方法
 - ① [ユーザー管理] - [基本制限設定] - [基本設定] - [編集] をクリック
 - ② 各項目の設定値を確認して [保存] をクリック
- 登録ユーザーの確認方法
 - ① [ユーザー管理] - [一覧] をクリック
 - ② ユーザーグループとユーザーが表示されることを確認
- 登録デバイスの確認方法
 - ① [デバイス管理] - [一覧] をクリック
 - ② デバイスグループとデバイスが表示されることを確認
- ログ情報の確認方法
 - ① [レポート] - [ログ] をクリック
 - ② [ログ選択] で移行されたデータが存在するログをクリック
 - ③ ログの存在する期間を指定して [表示] をクリック

以上で終了です。

参考

本製品にデータを移行後グループを再構築したいときは、以下の手順を参照してください。

- ① 移行した環境で「エクスポートインポートツール」を使い、現在の情報を保存します。ツールの起動方法は以下を参照してください。
→ 27 ページ「デバイス登録」
- ② 保存した CSV ファイルのグループ情報を編集します。CSV ファイルの書式は以下を参照してください。
→ 27 ページ「デバイス登録」
- ③ 編集したファイルを再度「エクスポートインポートツール」を使い、本製品に取り込みます。

！重要

本製品への移行が確認できるまでは、バックアップデータを削除しないようにしてください。

試用版データの移行(データベースメンテナンスツールの使い方)

ここでは、試用版のデータを製品版へ移行する手順を説明します。試用版のデータを移行するには、「データベースメンテナンスツール」を使用します。データをバックアップしてから、製品版をインストールしたコンピュータに復元します。

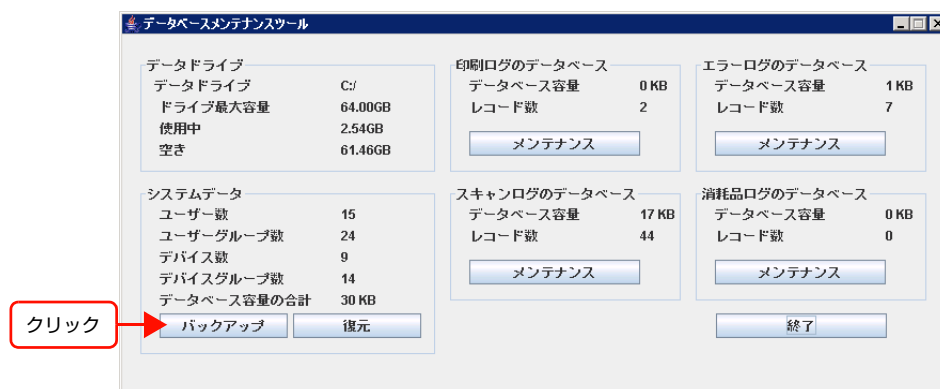
！重要 ツールの操作には必ずマウスを使用してください。キーボードで操作すると意図しない動作をすることがあります。

バックアップ

システムデータのバックアップと、ログ情報のバックアップをします。

システムデータのバックアップ

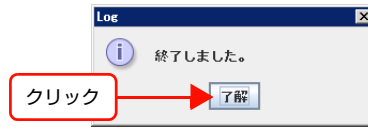
- 1 [スタート] - [プログラム] (または [すべてのプログラム]) - [EpsonNet] - [PrintDirector] - [Tools] - [データベースメンテナンスツール] をクリックします。
- 2 [システムデータ] の [バックアップ] をクリックします。



- 3 保存先フォルダを選択し、ファイル名を入力して [保存] をクリックします。



4 [了解] をクリックします。



システムデータのみバックアップする場合は以上で終了です。

バックアップしたデータの復元に進みます。

→ 73 ページ「復元」

ログ情報もバックする場合は、以下に進みます。

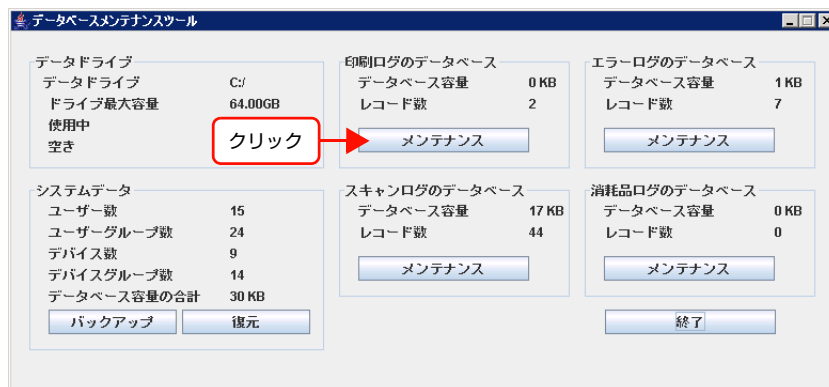
→ 71 ページ「ログ情報のバックアップ」

ログ情報のバックアップ

ここでは印刷ログ情報のバックアップ方法を説明します。他のログ情報のバックアップも操作は同じです。

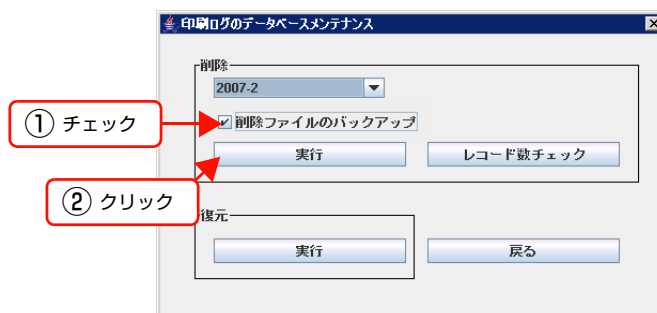
1 [スタート] - [プログラム] (または [すべてのプログラム]) - [EpsonNet] - [PrintDirector] - [Tools] - [データベースメンテナンスツール] をクリックします。

2 [印刷ログのデータベース] の [メンテナンス] をクリックします。



3 [削除] でバックアップする対象月を選択して、[削除ファイルのバックアップ] にチェックを付け、[実行] をクリックします。

デフォルトで最新月が表示されています。

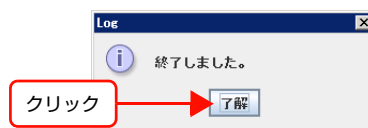


参考 [レコード数チェック] をクリックすると、各データベースのレコード数を表示します。

4 保存先フォルダを選択し、ファイル名を入力して「保存」をクリックします。



5 「了解」をクリックします。



他のログ情報をバックアップするときは、手順 2 ～ 6 を繰り返してください。終了する場合は「戻る」をクリックします。

以上で終了です。

バックアップしたデータの復元に進みます。

→ 73 ページ「復元」

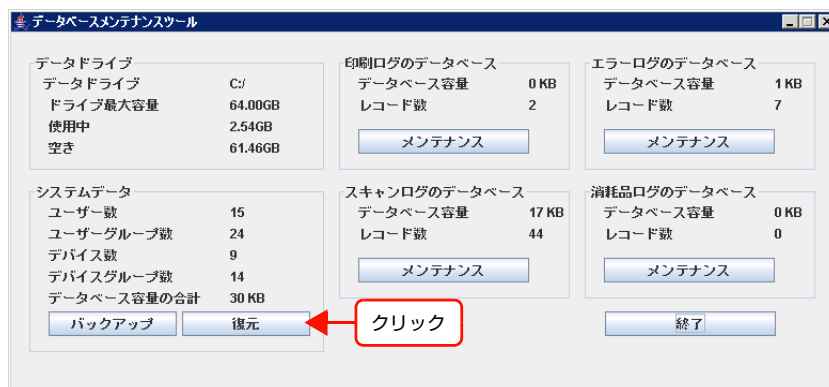
復元

試用版で使っていたデータを製品版で使うため、「データベースメンテナンスツール」でバックアップしたシステムデータまたはログ情報を製品版に復元します。製品版を違うコンピュータにインストールしたときは、インストールしたコンピュータのバックアップデータをすべてコピーします。

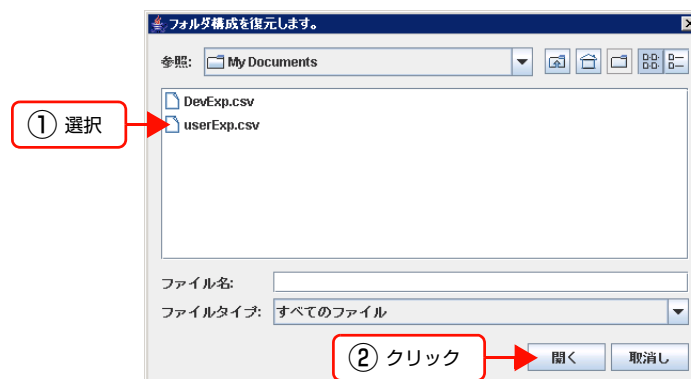
システムデータの復元

1 [スタート] - [プログラム] (または [すべてのプログラム] - [EpsonNet] - [PrintDirector] - [Tools] - [データベースメンテナンスツール]) をクリックします。

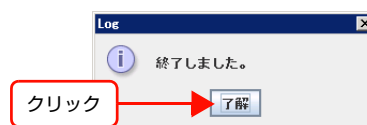
2 [システムデータ] の [復元] をクリックします。



3 バックアップしたデータファイルを選択して、[開く] をクリックします。



4 [了解] をクリックします。



システムデータのみ復元する場合は以上で終了です。

ログ情報を復元する場合は、以下に進みます。

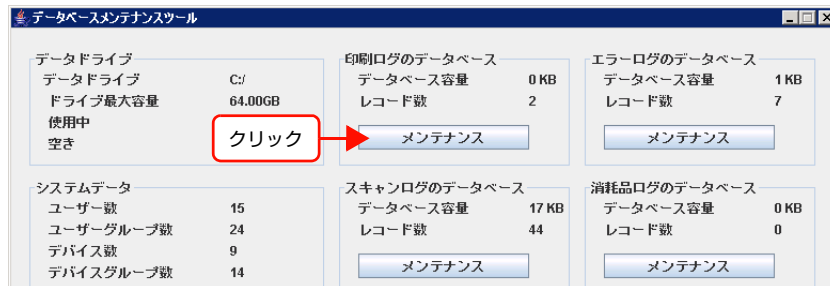
➔ 74 ページ「ログ情報の復元」

ログ情報の復元

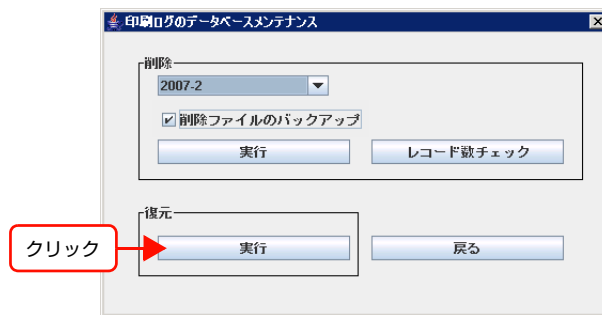
ここでは印刷ログ情報の復元方法を説明します。他のログ情報の復元も操作は同じです。

1 [スタート] - [プログラム] (または [すべてのプログラム]) - [EpsonNet] - [PrintDirector] - [Tools] - [データベースメンテナンスツール] をクリックします。

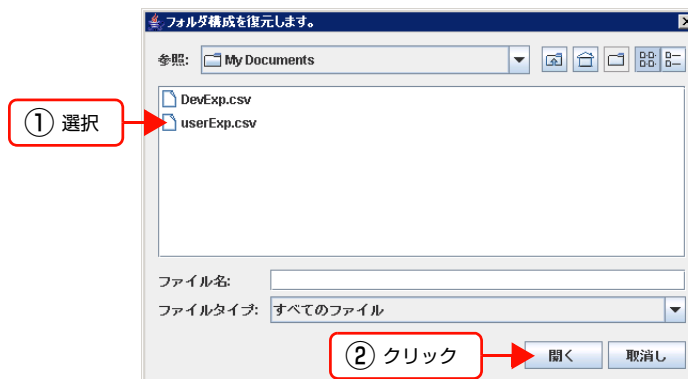
2 [印刷ログのデータベース] の [メンテナンス] をクリックします。



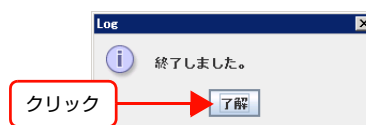
3 復元の [実行] をクリックします。



4 バックアップしたデータファイルを選択して、[開く] をクリックします。



5 [了解] をクリックします。



他のログ情報をバックアップするときは、手順 2 ～ 6 を繰り返してください。終了する場合は [戻る] をクリックします。

以上で終了です。

取得可能なログの種類について

ログ一覧で表示されるログの内容です。ログファイルに保存されているものは一部内容が異なります。

印刷ログ

名称	説明
印刷アプリケーション	印刷で使用されたアプリケーション名です。
OS	印刷ログ監視クライアントの OS 名です。 Windows 2000 : Win2K Windows XP : WinXP Windows Server 2003 : WinS2003 Windows Vista : Win Vista または WinNT6.0 コピーシステム、FAX 受信の場合は取得できません。 プリンタに USB メモリからの直接印刷機能で、インデックス印刷、JPEG、TIFF、PDF ファイルの印刷をしたときは Unknown になります。
ジョブ ID	印刷ログ監視クライアントの OS の種類ごとに設定される 16 進のジョブ ID になります。 プリンタ監視サーバ、コピーシステム、FAX 受信の場合は、プリンタの JobIndex が入ります。
プリンタ名	印刷を行ったプリンタに対して、クライアント上で登録されているプリンタ名です。 プリンタに USB メモリからの直接印刷機能で、インデックス印刷、JPEG、TIFF、PDF ファイルの印刷をしたときは Unknown になります。
ポート名	クライアントでの出力先ポート名です。
ドキュメント名	印刷ドキュメントの名前です。
ユーザー名	Windows へのログイン名称です。 コピーシステムにユーザ管理機能がない機種は、コピーユニット名：プリンタ固有の USB ID18 桁。 ユーザ管理機能がある機種でユーザ管理機能が ON のときは「User」、ユーザ管理機能が OFF 時は、コピーユニット名：コピーユニットシリアル番号（6 桁）が表示されます。FAX 受信の場合は、コピーユニット名：コピーユニットシリアル番号（6 桁）が表示されます。 プリンタに USB メモリから直接印刷をしたときは USB メモリの製造番号が表示されます。なお Windows XP の「ユーザーの簡易切り替え」には対応していません。
印刷開始日時	印刷を開始した日時（yyyy/mm/dd hh:MM:ss 形式の文字列）です。 - 印刷ログ監視クライアントの場合：印刷ジョブが作成された時刻が設定されます。 - プリンタ監視サーバ、コピーシステム、FAX 受信の場合：プリンタの NTP 機能がオンのときは NTP の時間、NTP 機能がオフのときは印刷が開始された時刻が設定されます。 - 印刷ログ取得サーバの場合：印刷ログ取得サーバの時間
印刷終了日時	印刷を終了した日時（yyyy/mm/dd hh:MM:ss 形式の文字列）です。 - 印刷ログ監視クライアントの場合：印刷ジョブが作成された時刻が設定されます。 - プリンタ監視サーバ、コピーシステム、FAX 受信の場合：プリンタの NTP 機能がオンのときは NTP の時間、NTP 機能がオフのときは印刷が開始された時刻が設定されます。 - 印刷ログ取得サーバの場合：印刷ログ取得サーバの時間
印刷枚数	印刷された枚数です。（区切りページ含む） プリンタ監視サーバ、コピーシステム、FAX 受信の場合は、印刷面数になります。
コンピュータ名	ネットワークに登録されているコンピュータ名です。 コピーシステム、FAX 受信、USB メモリからの直接印刷の場合は、UnknownHost になります。
プリンタドライバ名	印刷に使用されたプリンタのドライバの名前です。 プリンタに USB メモリからの直接印刷機能で、インデックス印刷、JPEG、TIFF、PDF ファイルの印刷をしたときは Unknown になります。
プリンタプロセッサ名	印刷に使用されたプリンタプロセッサの名前です。 例：WinPrint プリンタ監視サーバ、コピーシステム、FAX 受信の場合は、常に「空白」になります。
データタイプ	スプールデータのタイプです。 例：RAW、EMF など プリンタ監視サーバ、コピーシステム、FAX 受信の場合は、常に「空白」になります。

名称	説明
プリンタ種別	プリンタの機種の種類です。 - モノクロページプリンタ - カラーページプリンタ - インクジェットプリンタ
片面 / 両面印刷	両面印刷か片面印刷かの区別です。 - 片面印刷 - 両面印刷
用紙サイズ	印刷された用紙のサイズです。 プリンタ監視サーバ、コピーシステム、FAX 受信の場合、取得できなければ 0 になります。
用紙種類	印刷された用紙の種類（普通紙、専用紙など）または給紙タイプ（普通紙、レターヘッドなど）です。 エプソン製以外のプリンタなどで値が取得できない場合は（普通紙）が設定されます。 プリンタ監視サーバ、コピーシステム、FAX 受信の場合、取得できなければ 0 になります。
カラー / モノクロ印刷	カラー印刷かモノクロ印刷かの区別です。 - モノクロ印刷 - カラー印刷
印刷精度	解像度の設定状態です。 - はやい - きれい - 不明 - その他：解像度（dpi） プリンタ監視サーバ、コピーシステム、FAX 受信の場合、取得できないため、常に不明になります。
部単位印刷	部単位印刷かページ単位印刷かの区別です。 - ページ単位 - 部単位 - 不明 プリンタ監視サーバ、コピーシステム、FAX 受信の場合、取得できないため、常に不明になります。
用紙方向	用紙方向の区別です。 - 縦 - 横 - 不明 プリンタ監視サーバ、コピーシステム、FAX 受信の場合、取得できないため、常に不明になります。
割付枚数	割付印刷での 1 枚当たりのページ数です。 エプソン製以外のプリンタなどで値が取得できない場合は 1 を設定します。 プリンタ監視サーバ、コピーシステム、FAX 受信の場合、取得できないため、常に 0 になります。
実用紙サイズ	拡大や縮小を行った場合、実際に印刷で使用された用紙サイズです。 エプソン製以外のプリンタなどで値が取得できない場合は用紙サイズの値が設定されます。 プリンタ監視サーバ、コピーシステム、FAX 受信の場合、取得できなければ 0 になります。
実用紙横サイズ	横方向の用紙サイズの 1/10mm 値です。 エプソン製以外のプリンタなどで値が取得できない場合は用紙サイズ（横）の値が設定されます。
実用紙縦サイズ	縦方向の用紙サイズの 1/10mm 値です。 エプソン製以外のプリンタなどで値が取得できない場合は用紙サイズ（縦）の値が設定されます。
実印刷枚数	監視クライアントの場合は、以下の式で計算されます。 $\text{実印刷枚数} = (1 - \text{両面印刷フラグ} / 2) \times (\text{印刷枚数} / \text{割付印刷})$ 端数は切り上げられます。 プリンタ監視サーバ、コピーシステム、FAX 受信の場合、プリンタで印刷した枚数が入ります。
ユーザーグループ	印刷したユーザーが登録されているグループ名です。 ユーザーがグループに登録されていない場合は、「空白」になります。
プリンタグループ	使用されたプリンタが登録されているグループ名です。使用プリンタがグループに登録されていない場合は「空白」になります。
ログ種別	ログの内容が「印刷」「コピー」「Fax」のいずれかを示します。この項目は、プリンタ監視サーバで取得されたログのみに登録されます。 「コピー」「Fax」と表示されるのは、コピーシステムとして接続された対応機種のみです。

スキャナの使用ログ

名称	説明
ログ種別	スキャナ使用ログの種別を示す ID が登録されます。 • スキャン（ファイル） • スキャン（メール）
ScanComposer 情報	ScanComposer のインストールされているコンピュータ名または IP アドレスが登録されます。
ジョブ ID	スキャンジョブの ID です。
ネットワークスキャナ名称	ScanComposer に登録されているスキャナ名称が登録されます。
スキャナ IP アドレス	スキャナを接続しているコピーシステムの IP アドレスが登録されます。
スキャナ Mac アドレス	スキャナを接続しているコピーシステムの Mac アドレスが登録されます。
スキャナモデル名	スキャナを接続しているコピーシステムのモデル名が登録されます。
スキャナシリアルナンバー	スキャナを接続しているコピーシステムのシリアルナンバーが登録されます。
スキャンユーザー名称	スキャンを実行した ScanComposer に登録されているスキャンユーザーが登録されます。
ユーザーアカウント名	コピーシステムに登録されているアカウント名が登録されます。
スキャナ使用開始日時	ScanComposer がインストールされているコンピュータの時間を元に、スキャンを開始した日時（yyyy/mm/dd hh:MM:ss 形式の文字列）が登録されます。
スキャナ使用終了日時	ScanComposer がインストールされているコンピュータの時間を元に、スキャンを終了した日時（yyyy/mm/dd hh:MM:ss 形式の文字列）が登録されます。
ページ数	スキャンを行ったページ数が登録されます。
カラー / 白黒 / グレー	スキャン時のカラーモードが登録されます。 • 白黒 • グレー • カラー
解像度	スキャン時の解像度が登録されます。単位は dpi です。 • 300dpi • 200dpi • 400dpi
ファイルサイズ	スキャンで出力したデータのサイズが登録されます。単位は Byte です。
用紙サイズ	原稿の用紙サイズが登録されます。
用紙横サイズ	横方向の用紙サイズの 1/10mm 値です。
用紙縦サイズ	縦方向の用紙サイズの 1/10mm 値です。
ファイル数	スキャンで出力されたファイルの数が登録されます。
イメージファイル名	スキャンで出力されたファイルの名称が登録されます。
ファイル形式	スキャンで出力された画像ファイルの形式が登録されます。
データ分割番号	スキャンしたデータを E メールで送信する際に分割されたデータに割り振られる連番が登録されます。分割されなかったときは「1」が登録されます。
送信者メールアドレス	ScanComposer にメールアドレスが登録されているときのみ、送信者のメールアドレスが登録されます。
スキャン先名	スキャンしたデータを E メールで送信する場合は、メール送信時の宛先名が登録されます。スキャンしたデータを共有フォルダに保存する場合は、ScanComposer で登録したフォルダの名称が登録されます。 グループ指定の時は登録されません。
スキャン先	スキャンしたデータを E メールで送信する場合は、メール送信時の宛先のメールアドレスが登録されます。スキャンしたデータを共有フォルダに保存する場合は、ScanComposer で登録したフォルダのパスが登録されます。
メール件名	メール送信時のメールの件名が登録されます。
終了コード	スキャン結果の状態を示す ID が登録されます。ID の内容は、「結果」に登録されます。
結果	「終了コード」に登録された、ID の内容が登録されます。

問い合わせ事前確認一覧

本製品でのトラブルなどをお問い合わせの際は、以下の項目を確認いただきお問い合わせいただくことをお勧めします。
お問い合わせ先は、本製品に同梱の「はじめにお読みください」で確認してください。

本製品のバージョン：

構成環境 (PrintDirector 本体以外に、別途プリンタ監視サーバ、印刷ログ取得サーバを構成しているときは個々に記載してください)

PrintDirector 本体 OS (ServicePack)：

プリンタ監視サーバ 台数：

 台

OS (ServicePack)：

印刷ログ取得サーバ 台数：

 台

OS (ServicePack)：

クライアントコンピュータ 台数：

 台

OS (ServicePack)：

登録プリンタ 台数：

 台

機種：

印刷方式：

接続方法：

直接 or サーバ経由 (共有)

登録ユーザー数：

各サーバのスペックを確認するため、[スタート] - [ファイル名を指定して実行] - [Msinfo32.exe] を実行して、表示された画面の内容をこちらからお聞きすることがあります。

発生内容 (詳細状況を記入してください)

☐ 印刷遅延

印刷制限 : ☐ 有 ☐ 無

☐ 印刷されない

印刷制限 : ☐ 有 ☐ 無

Windows スプーラはどのような状態ですか？

☐ ログが集計されない

プリンタ監視サーバでログを取得しているときで、プリンタ監視サーバに
対象プリンタを登録していますか？

☐ 印刷制限されない

[基本制限設定] はどのように設定していますか？

☐ レポートが自動生成されない

出力 : ☐ PDF ☐ CSV

[締め設定] はどのように設定していますか？
ログは集計できていますか？

☐ メールが通知されない

何を通知させていますか (障害情報や印刷制限など)？

☐ メッセージャーが動作しない

ルータ越え : ☐ 有 ☐ 無

WINS を設定するとどうなりますか？
Messenger サービスは動作していますか？
net send コマンドで通知されますか？

☐ その他

使用アプリケーション：

メモしておきましょう(Print Director)

トラブル、引っ越し、システム管理者の異動などに備えてこのシートを印刷して、現在の主な設定をメモしておくことをお勧めします。

導入目的 (本製品の使用目的)

印刷ログ取得：	☐ プリント	☐ コピー	☐ FAX		
印刷制限：	☐ 印刷枚数制限	☐ 枚数繰り越し	☐ 繰り返し印刷	☐ 部数印刷	☐ 印刷制限時間帯
デバイス管理：	☐ 障害管理	☐ 消耗品管理	☐ 印刷情報ログ	☐ スキャナ使用ログ	
レポート：	☐ グラフ生成				
	☐ 定期処理	☐ (障害情報ログ	☐ 消耗品情報ログ	☐ 印刷情報ログ	☐ スキャナ使用ログ)
通知：	☐ 制限通知	☐ (メール	☐ Messenger)		
	☐ 障害通知	☐ (メール)			

導入環境

登録ユーザー数：	名	登録デバイス数：	名	クライアントコンピュータ数：	名
サーバ OS：	Ver		クライアント OS：	Ver	
サーバコンポーネント：	☐ 印刷ログ取得サーバ	台	☐ プリンタ監視サーバ	台	
プリンタ機種名	☐ 標準 I/F ☐ オプション I/F				
接続方式：	直接 or サーバ経由 (共有)		印刷ログ監視クライアントインストール先：	クライアント or サーバ	

導入作業

☐ 本製品インストーラー者		☐ 補助サーバインストーラー者		
☐ 印刷ログ監視クライアント：作成者		インストール者：		
☐ プリンタドライバインストーラー者				
ユーザー登録作成者：	☐ CSV		☐ 手入力	
ユーザーグループ作成者：	☐ CSV		☐ 手入力	
デバイス登録作成者：	☐ CSV		☐ 手入力	
デバイスグループ作成者：	☐ CSV		☐ 手入力	
☐ 印刷制限設定者				
デバイス通知設定者：	☐ 障害通知		☐ 消耗品通知	
レポート設定者：	☐ 締め日		☐ 定期処理	
	☐ メール通知先		☐ ログ保存先	
メール設定者：	☐ SMTP アドレス			

導入設定結果（設定値）

ネットワーク設定: ☐ IP アドレス ☐ トラップアドレス

☐ 印刷ログ取得サーバアドレス ☐ プリンタ監視サーバアドレス

☐ 監視対象プリンタアドレス

印刷制限監視クライアント: ☐ 制限有 ☐ 制限無 ☐ 他社プリンタ監視 ☐ ユーザー操作有 ☐ ユーザー操作無

基本制限設定（登録ユーザー）

制限設定: ☐ 枚数制限期間 ☐ 枚数制限動作 ☐ 対象となる印刷を拒否

枚数/機能制限情報: ☐ 全印刷枚数 ☐ カラー印刷枚数

☐ モノクロ印刷枚数 ☐ 印刷枚数の繰り越しを拒否

複数印刷の制限: ☐ 繰り返し印刷を拒否 ☐ 繰り返し印刷を拒否する間隔 ☐ 部数印刷を拒否

☐ 印刷制限時間帯

基本制限設定（未登録ユーザー）

制限設定: ☐ 枚数制限期間 ☐ 枚数制限動作 ☐ 対象となる印刷を拒否

枚数/機能制限情報: ☐ 全印刷枚数 ☐ カラー印刷枚数

☐ モノクロ印刷枚数 ☐ 印刷枚数の繰り越しを拒否

複数印刷の制限: ☐ 繰り返し印刷を拒否 ☐ 繰り返し印刷を拒否する間隔 ☐ 部数印刷を拒否

☐ 印刷制限時間帯

デバイス管理 : 障害情報通知 ☐ 有 ☐ 無 ☐ 通知レベル

: 消耗品情報通知 ☐ 有 ☐ 無 ☐ 通知レベル

レポート : ☐ 締め月 ☐ 締め日

ログ（定期処理）

障害情報 : 出力ファイル自動作成 ☐ する ☐ しない E-mail 送信: ☐ する ☐ しない

消耗品情報 : 出力ファイル自動作成 ☐ する ☐ しない E-mail 送信: ☐ する ☐ しない

印刷情報 : 出力ファイル自動作成 ☐ する ☐ しない E-mail 送信: ☐ する ☐ しない

スキャナ使用 : 出力ファイル自動作成 ☐ する ☐ しない E-mail 送信: ☐ する ☐ しない

このほかの設定は、設定画面のキャプチャを撮るなどして保存することをお勧めします。